

フリーターの意識・就労実態調査（2021年）

■ 調査概要

調査対象

フリーターの就労に関する実態・意識を明らかにすること

調査期間

スクリーニング調査：2021年7月21日（水）～2021年7月26日（月）/本調査：2021年7月30日（金）～2021年8月2日（月）

調査方法

インターネット調査

有効回答数

1,734名

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。



本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部 E-mail : myrm@mynavi.jp

■ INDEX

(1) 回答者プロフィール	P2-3
(性年齢／居住地／最終学齢)	
(2) フリーターの実態	P4-6
(フリーターになったきっかけ／正社員経験／正社員経験期間／不安なこと／貯蓄額)	
(3) 就労実態	P7-10
(職種／勤務日数／勤務時間／通勤時間／勤続期間／月収／世帯月収)	
(4) 就労意識	P11-13
(就労目的／やりがい／理想の上司像／非就労者の就労意向と求職活動有無／求職活動していない理由)	
(5) 仕事探し	P14
(仕事探しの絶対条件／入社の決め手)	
(6) 離職・定着	P15-18
(現アルバイト先での継続意向／満足度／前向きさ／推奨意向／勤務先の実態／早期離職経験／早期離職要因)	
(7) 今後の意向	P19-22
(希望する雇用形態／正社員意向ありの理由／副業・掛け持ち意向／副業・掛け持ち数／副業の職種／バイトリーダー経験有無／バイトリーダーをやる場合に希望するプラス時給)	
(8) [参考] ウエイトパック集計について	P23

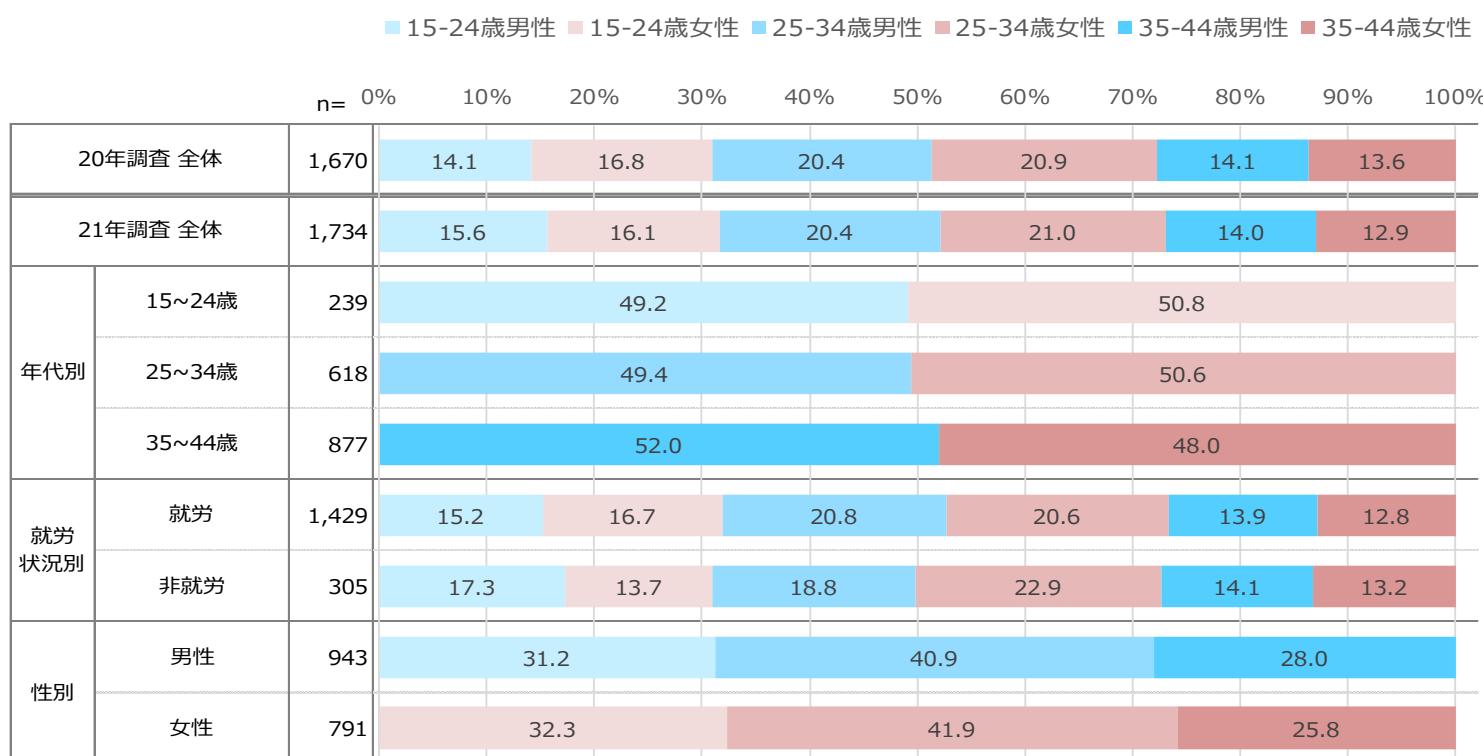
調査仕様

調査手法	インターネット調査																																																																																																
対象者条件	<ul style="list-style-type: none"> ・15～44歳の男性は既卒、女性は既卒かつ未婚のうち、 ①雇用形態が「パート・アルバイト」 ②完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」 ③非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」 <p>※完全失業者は「無職(家事・手伝いや通学などをしている)」と定義 ※厚生労働省のフリーター定義より ※非労働力人口は「無職(家事や通学をしていない)」と定義 ※厚生労働省のフリーター定義より ※通常3業種（市場調査／広告代理店／コンサルティング会社）は除外</p>																																																																																																
エリア	全国																																																																																																
ウェイトバック集計前後のサンプル数	<p>ウェイトバック集計とは：アンケート回収者の属性構成比率が実際の比率と乖離している場合、構成に合わせるように重み付けして集計すること。 ただし、以降ページのサンプルサイズ表記については、ウェイトバック前の値を掲載しています。</p> <table border="1" style="margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">【回収数：ウェイトバック前】</th> <th colspan="3">男性</th> <th colspan="3">女性</th> </tr> <tr> <th></th> <th>TOTAL</th> <th>15-24歳</th> <th>25-34歳</th> <th>35-44歳</th> <th>15-24歳</th> <th>25-34歳</th> <th>35-44歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOTAL</td> <td>1734</td> <td>92</td> <td>363</td> <td>488</td> <td>147</td> <td>255</td> <td>389</td> </tr> <tr> <td>雇用形態が「パート・アルバイト」</td> <td>1429</td> <td>74</td> <td>304</td> <td>401</td> <td>125</td> <td>206</td> <td>319</td> </tr> <tr> <td>完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」</td> <td>203</td> <td>14</td> <td>36</td> <td>46</td> <td>14</td> <td>38</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」</td> <td>102</td> <td>4</td> <td>23</td> <td>41</td> <td>8</td> <td>11</td> <td>15</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">【回収数：ウェイトバック後】</th> <th colspan="3">男性</th> <th colspan="3">女性</th> </tr> <tr> <th></th> <th>TOTAL</th> <th>15-24歳</th> <th>25-34歳</th> <th>35-44歳</th> <th>15-24歳</th> <th>25-34歳</th> <th>35-44歳</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>TOTAL</td> <td>1734</td> <td>270</td> <td>354</td> <td>242</td> <td>280</td> <td>364</td> <td>224</td> </tr> <tr> <td>雇用形態が「パート・アルバイト」</td> <td>1428</td> <td>217</td> <td>297</td> <td>199</td> <td>238</td> <td>294</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td>完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」</td> <td>212</td> <td>41</td> <td>35</td> <td>23</td> <td>27</td> <td>54</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td>非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」</td> <td>94</td> <td>12</td> <td>22</td> <td>20</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table> <p>※『総務省・労働力調査 (2020年平均速報データ)』を基に、 「パート・アルバイト及びその希望者」の 年齢階級別人口構成比に合わせている。</p>	【回収数：ウェイトバック前】		男性			女性				TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	TOTAL	1734	92	363	488	147	255	389	雇用形態が「パート・アルバイト」	1429	74	304	401	125	206	319	完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」	203	14	36	46	14	38	55	非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」	102	4	23	41	8	11	15	【回収数：ウェイトバック後】		男性			女性				TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳	TOTAL	1734	270	354	242	280	364	224	雇用形態が「パート・アルバイト」	1428	217	297	199	238	294	183	完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」	212	41	35	23	27	54	32	非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」	94	12	22	20	15	16	9
【回収数：ウェイトバック前】		男性			女性																																																																																												
	TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳																																																																																										
TOTAL	1734	92	363	488	147	255	389																																																																																										
雇用形態が「パート・アルバイト」	1429	74	304	401	125	206	319																																																																																										
完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」	203	14	36	46	14	38	55																																																																																										
非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」	102	4	23	41	8	11	15																																																																																										
【回収数：ウェイトバック後】		男性			女性																																																																																												
	TOTAL	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳																																																																																										
TOTAL	1734	270	354	242	280	364	224																																																																																										
雇用形態が「パート・アルバイト」	1428	217	297	199	238	294	183																																																																																										
完全失業者かつ探している仕事の形態が「パート・アルバイト」	212	41	35	23	27	54	32																																																																																										
非労働力人口かつ家事も通学もしていない者のうち、就業内定なし、希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」	94	12	22	20	15	16	9																																																																																										
設問ボリューム	30問																																																																																																
その他	本調査は「ISO20252（市場、世論、社会調査－用語とサービス要求事項）」を遵守し、実施しました。																																																																																																

(1) 回答者プロフィール

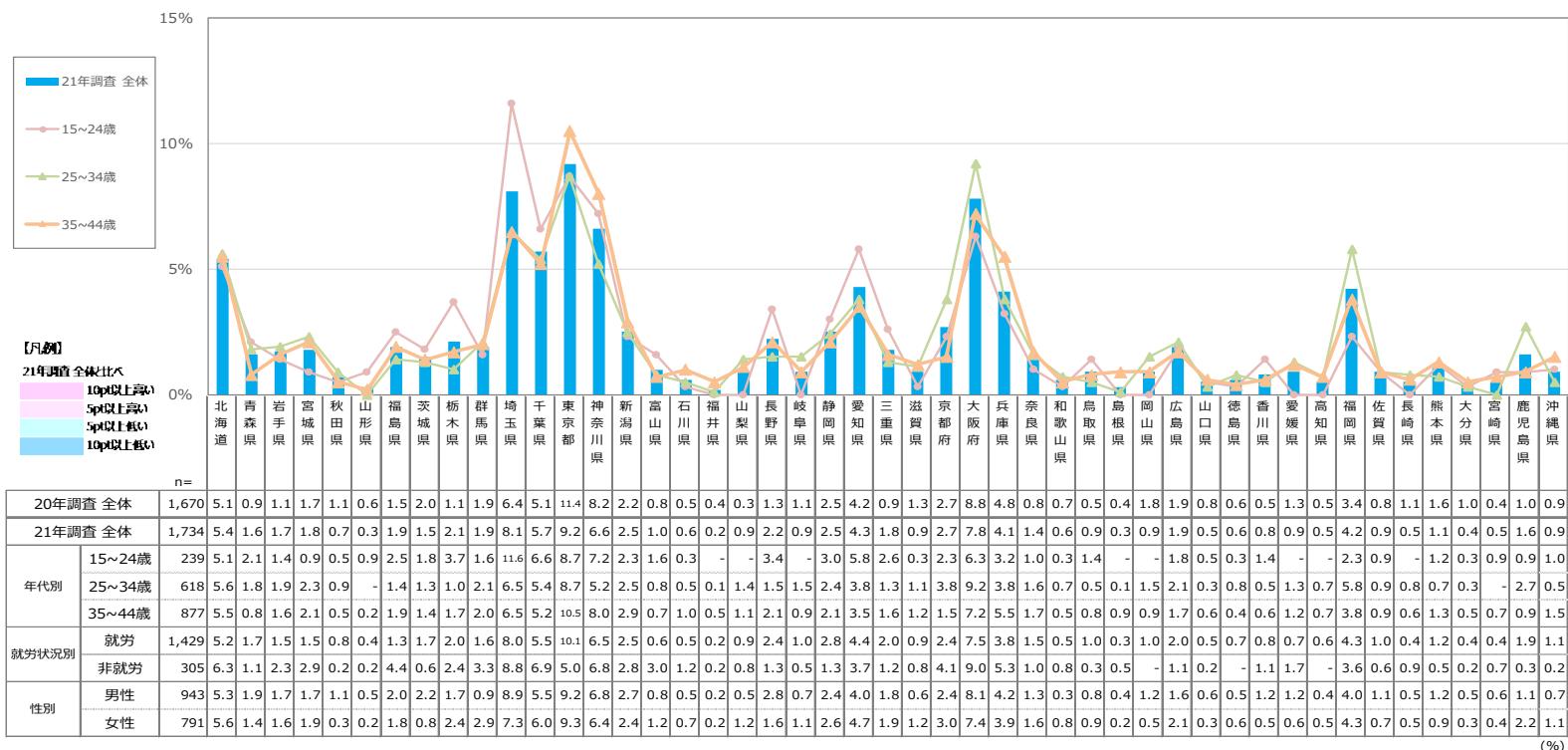
性×年齢（単一回答）

・全体では、25～34歳の男女比率がいずれも約2割とやや高い。



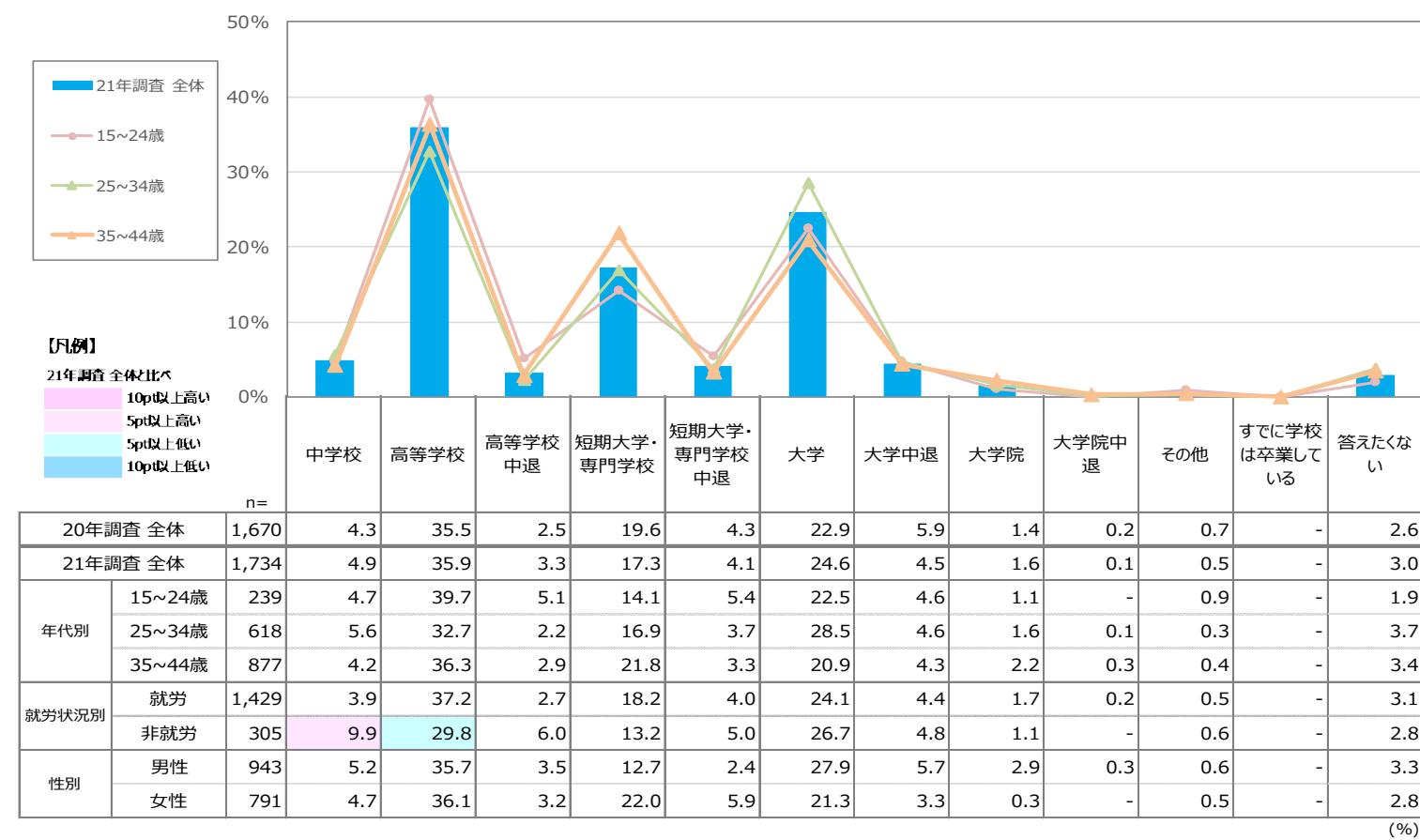
居住地（単一回答）

- 全体でみると、「東京都」「神奈川県」の比率が前回よりもわずかに低下。
- 年代別でみると、「埼玉県」は15～24歳の比率がやや高め。
- 就労状況別でみると、「東京都」は就労者の比率が非就労者の比率を5pt上回った。



最終学歴（単一回答）

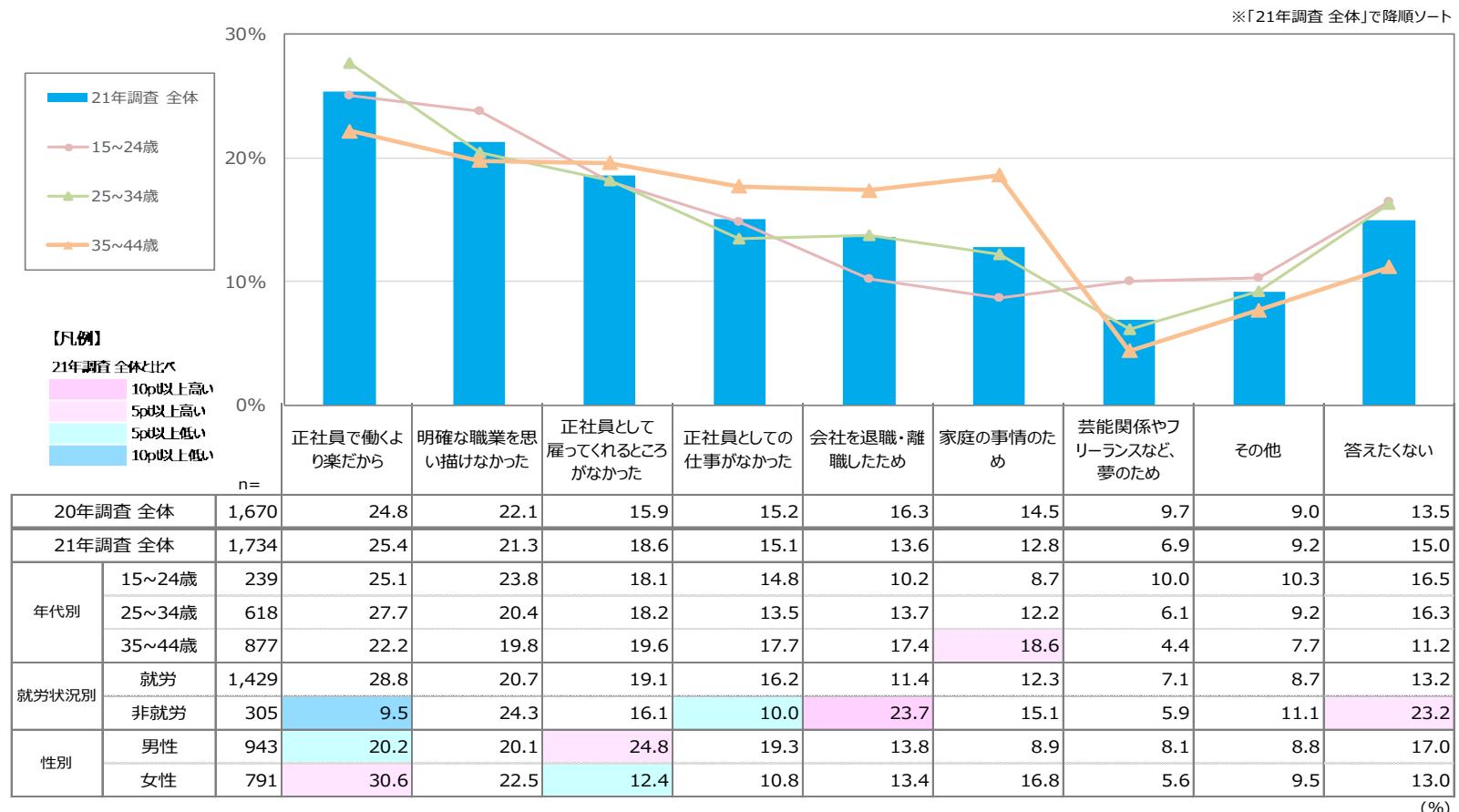
- 全体でみると、「高等学校」が3割台半ばで最も高く、次いで「大学」「短期大学・専門学校」が2割前後で続く。
- 就労状況別でみると、非就労者で「中学校」が全体に比べやや高め。一方、「高等学校」は全体に比べやや低め。
- 非就労者の約4人に1人が「大学」。就労者とほぼ同率となっている。



(2)フリーターの実態

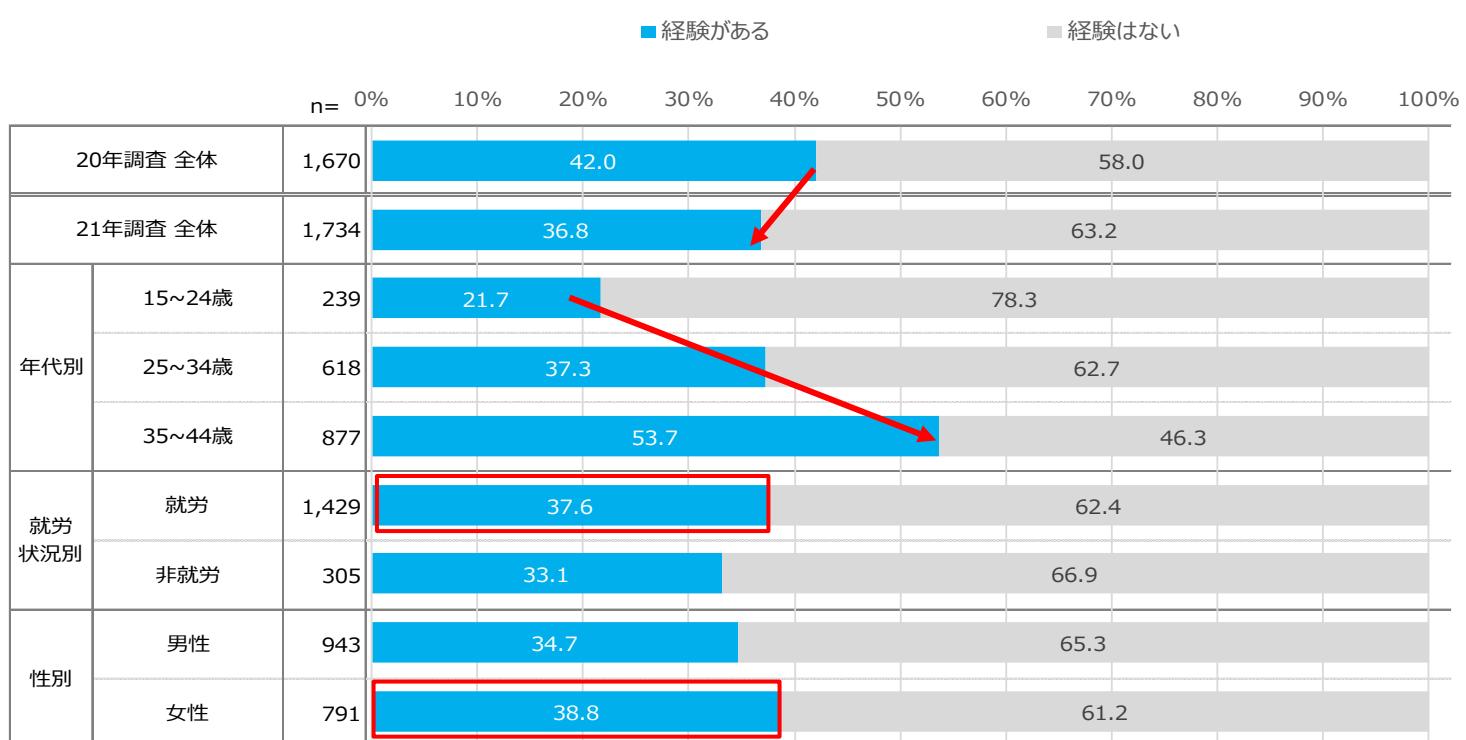
フリーター（非就労者は無職）になったきっかけ

- ・フリーターになったきっかけを全体でみると、「正社員で働くより楽だから」「明確な職業を思い描けなかった」が2割強で特に高い。
- ・年代別でみると、「正社員として雇ってくれるところがなかった」「会社を退職・離職したため」「家庭の事情のため」など『環境要因』は高年層ほど比率が高まる。一方、「芸能関係やフリーランスなど、夢のため」といった『動機付け要因』は若年層ほど比率が高まる。
- ・性別でみると、「正社員で働くより楽だから」は女性のほう、「正社員として雇ってくれるところがなかった」は男性のほうが高い。



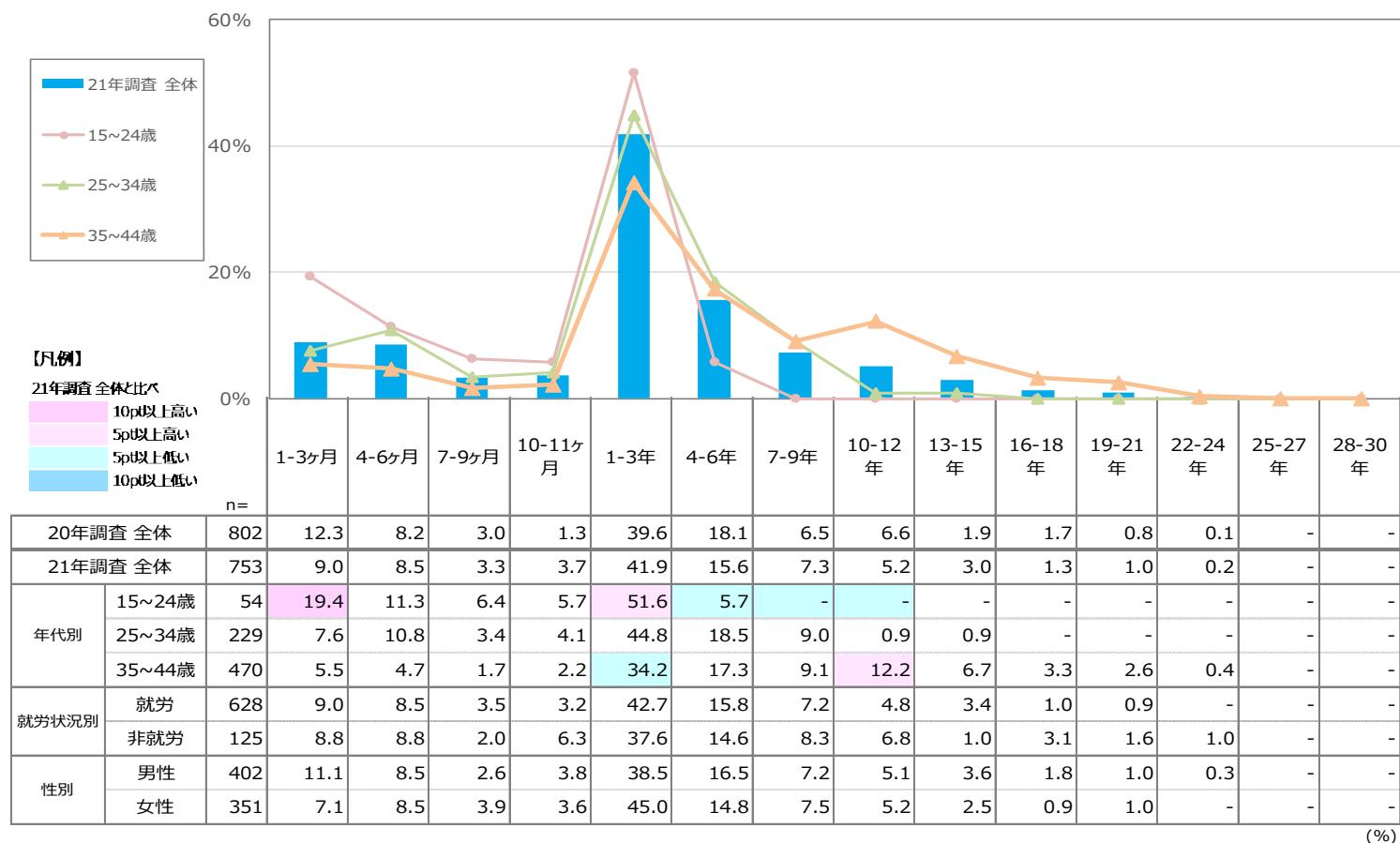
正社員経験（単一回答）

- ・全体では、正社員経験率は4割弱。昨年よりやや低下。
 - ・年代別でみると、高年層ほど正社員経験率が上昇。
 - ・就労状況別では就労者のほうが、性別では女性のほうが正社員経験率がわずかに高い。
- ※ベース：正社員として働いた経験のある人



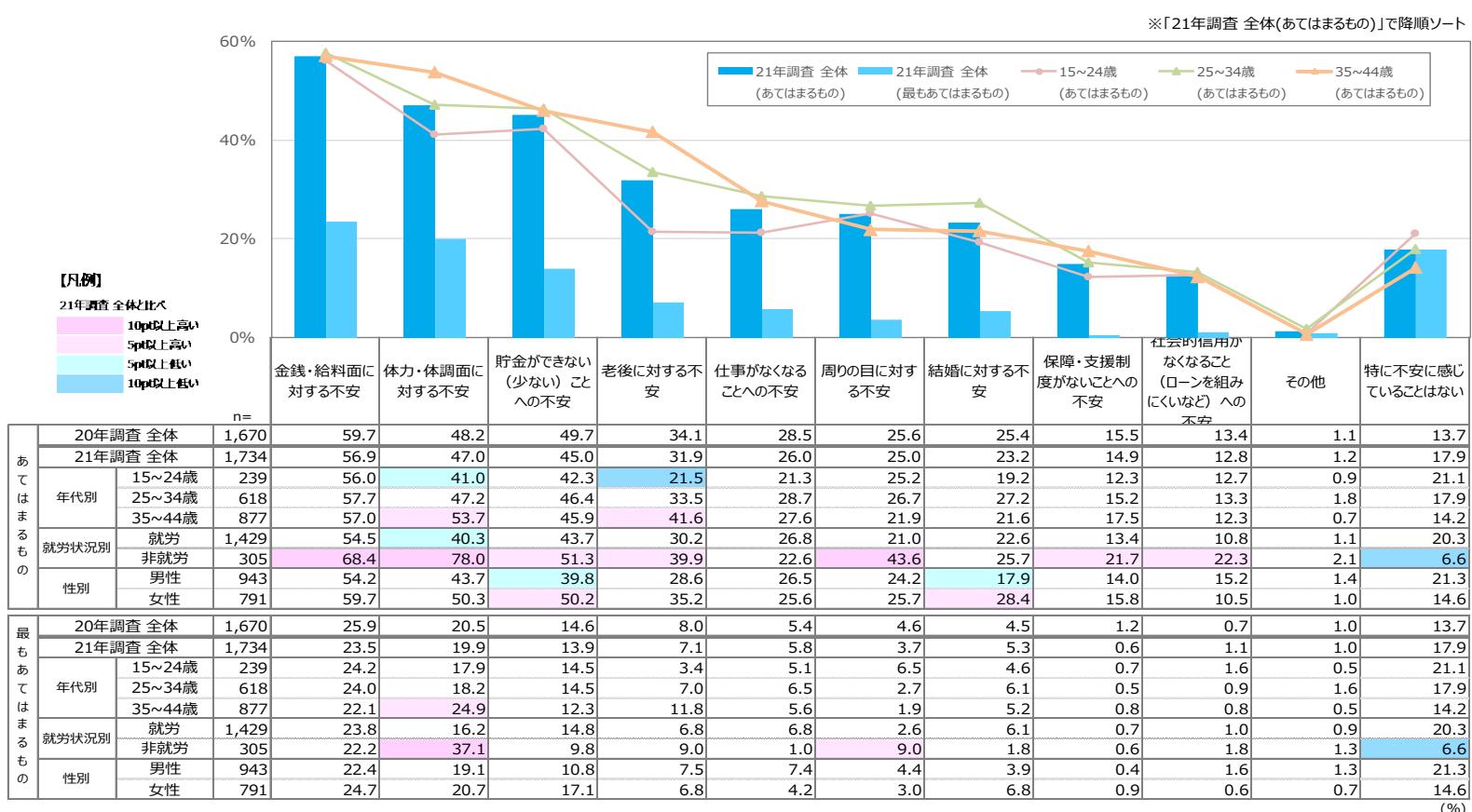
正社員経験期間（数値回答）

- 全体で正社員経験期間をみると、昨年同様、「1-3年」が約4割でボリュームゾーン。
- 年代別でみると、15~24歳で「1-3ヶ月」が2割を占める。



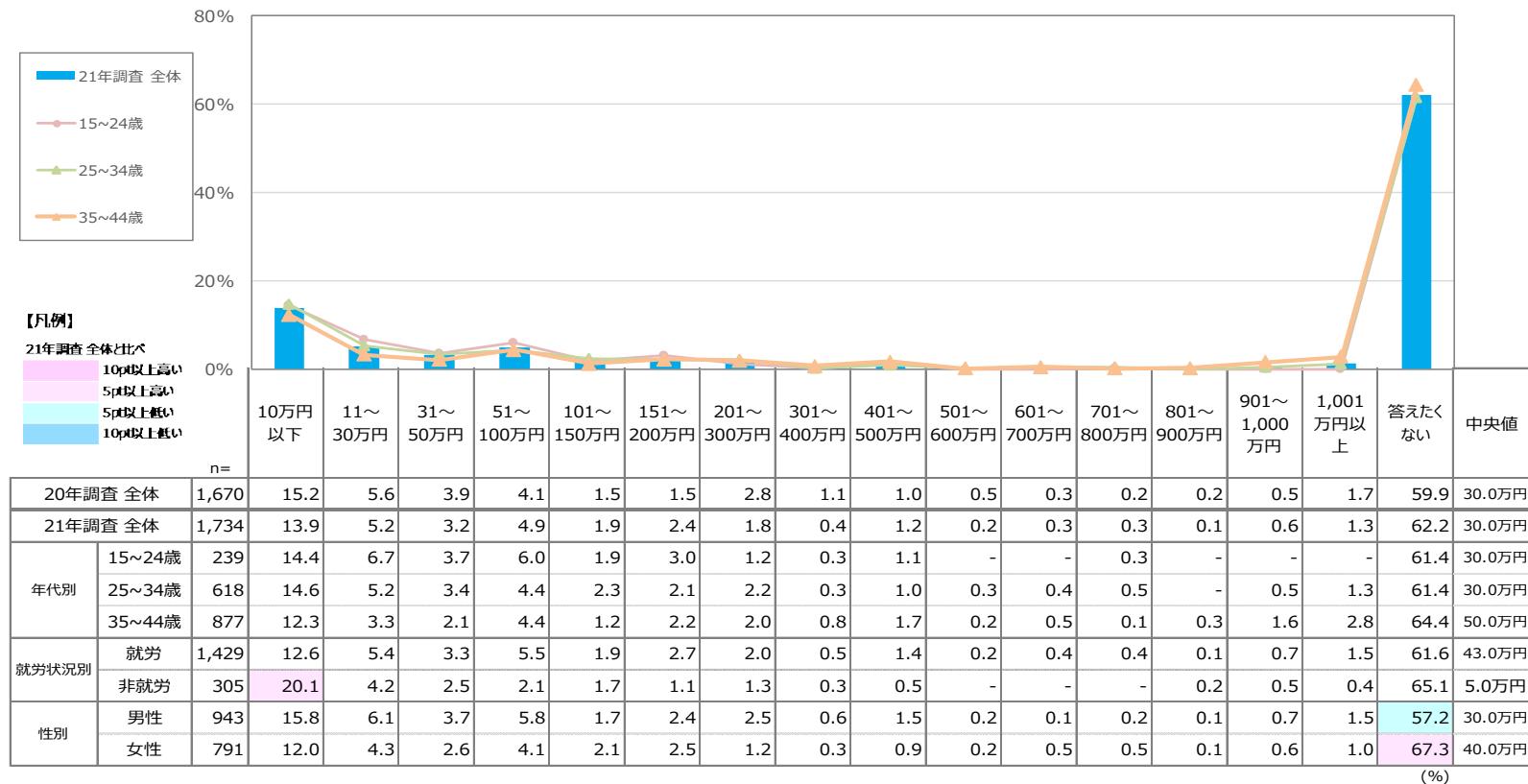
不安なこと:あてはまるものすべて（複数回答）／最もあてはまるもの（単一回答）

- 全体で【不安内容：あてはまるもの】をみると、「金銭・給料面に対する不安」「体力・体調面に対する不安」「貯金ができない（少ない）ことへの不安」が5~6割と特に高い。
- 年代別でみると、「体力・体調面に対する不安」「老後に対する不安」は高年層ほど比率が高まる。
- 就労状況別でみると、非就労者は多くの項目で就労者よりも不安度が高い。
- 性別でみると、女性で「貯金ができない（少ない）ことへの不安」「結婚に対する不安」など、『今後のライフスタイルへの不安』が強い。



貯蓄額（数値回答）

- ・全体では、貯蓄額の中央値が「30万円」と、前回と同レベル。
- ・年代別で中央値をみると、15～24歳・25～34歳で「30万円」に対し、35～44歳で「50万円」と大きな差がある。
- ・就労状況別で中央値をみると、就労者が「43万円」であるのに対し、非就労者では「5万円」と差が非常に大きい。

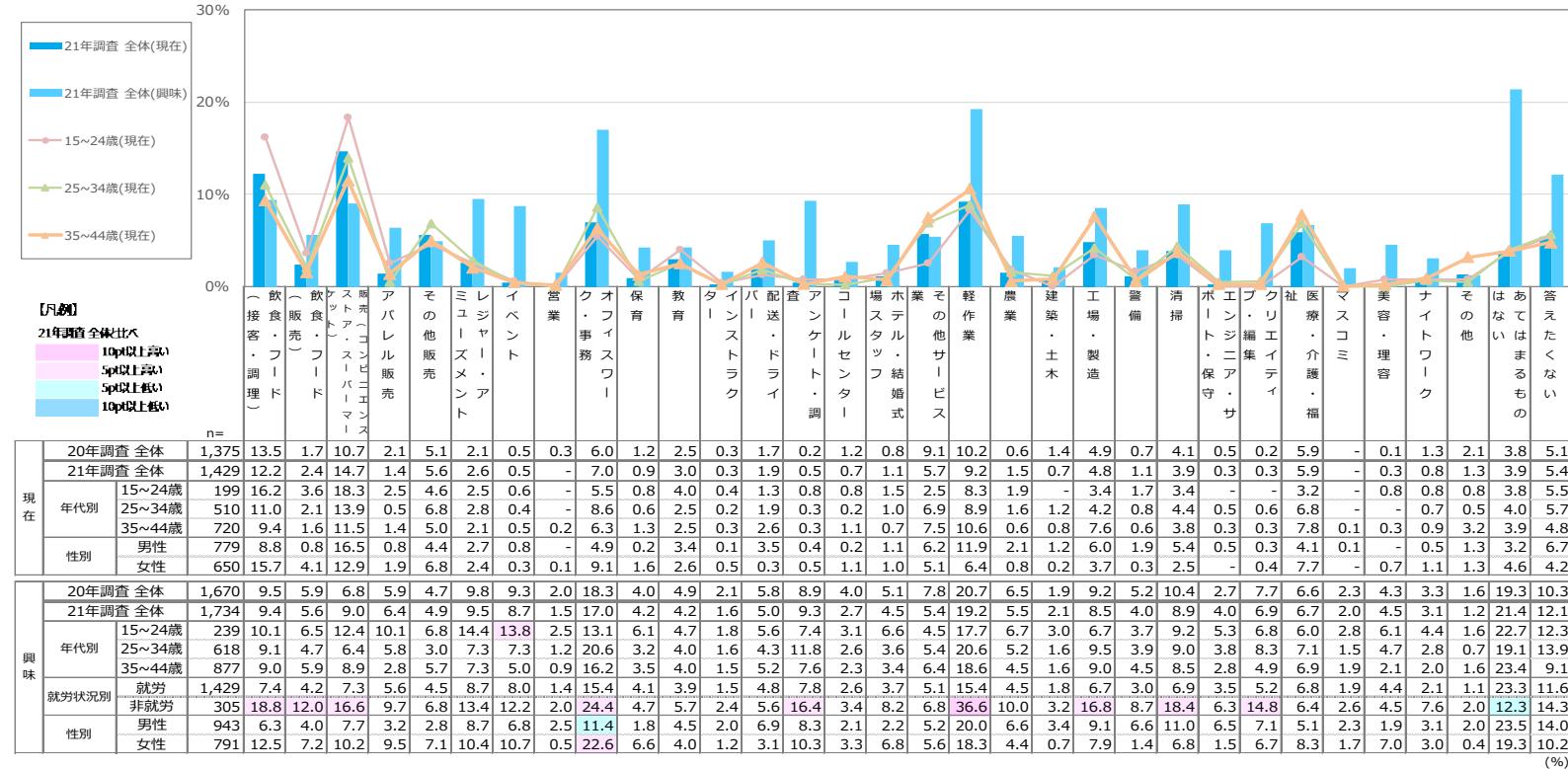


(3) 就労実態

職種（現在↔興味）現在の職種（単一回答）／やってみたい職種（複数回答）

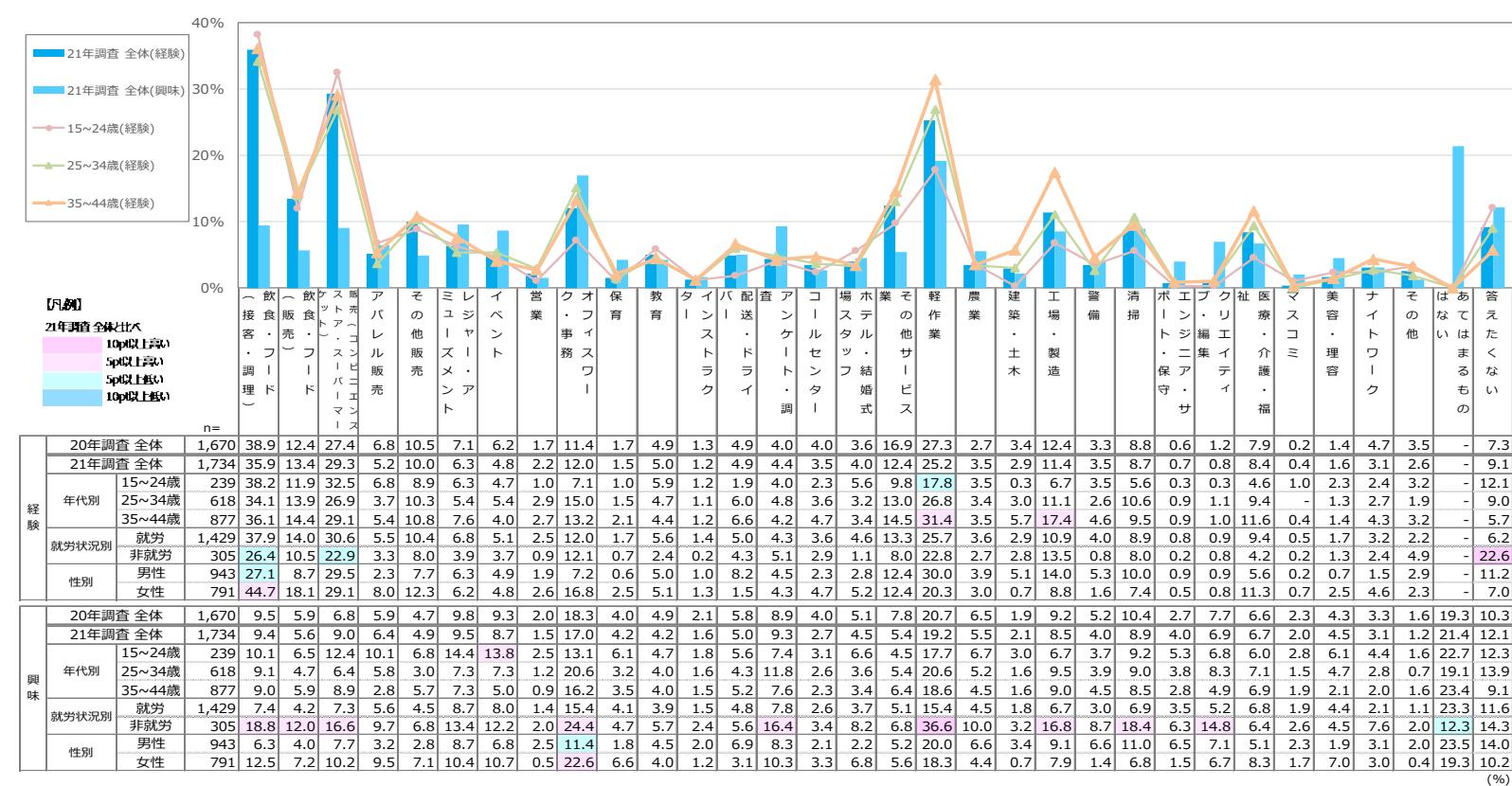
- 現在の職種を全体でみると、「販売（コンビニエンスストア・スーパー・マーケット）」「飲食・フード（接客・調理）」「軽作業」などが1割前後で特に高い。
- 年代別で現在の職種をみると、「飲食・フード（接客・調理）」「販売（コンビニエンスストア・スーパー・マーケット）」は若年層ほど、「軽作業」は高年層ほど就業比率が高まる。
- 興味がある職種を全体でみると、「軽作業」「オフィスワーク・事務」が2割弱と特に高い。
- 興味がある職種を就労状況別でみると、非就労者で「軽作業」が4割弱と非常に高い。

※ベース：現在の職種_現在の職業がパート・アルバイト／やってみたい職種_ALL



職種（経験↔興味）今まで経験のある職種（単一回答）／やってみたい職種（複数回答）

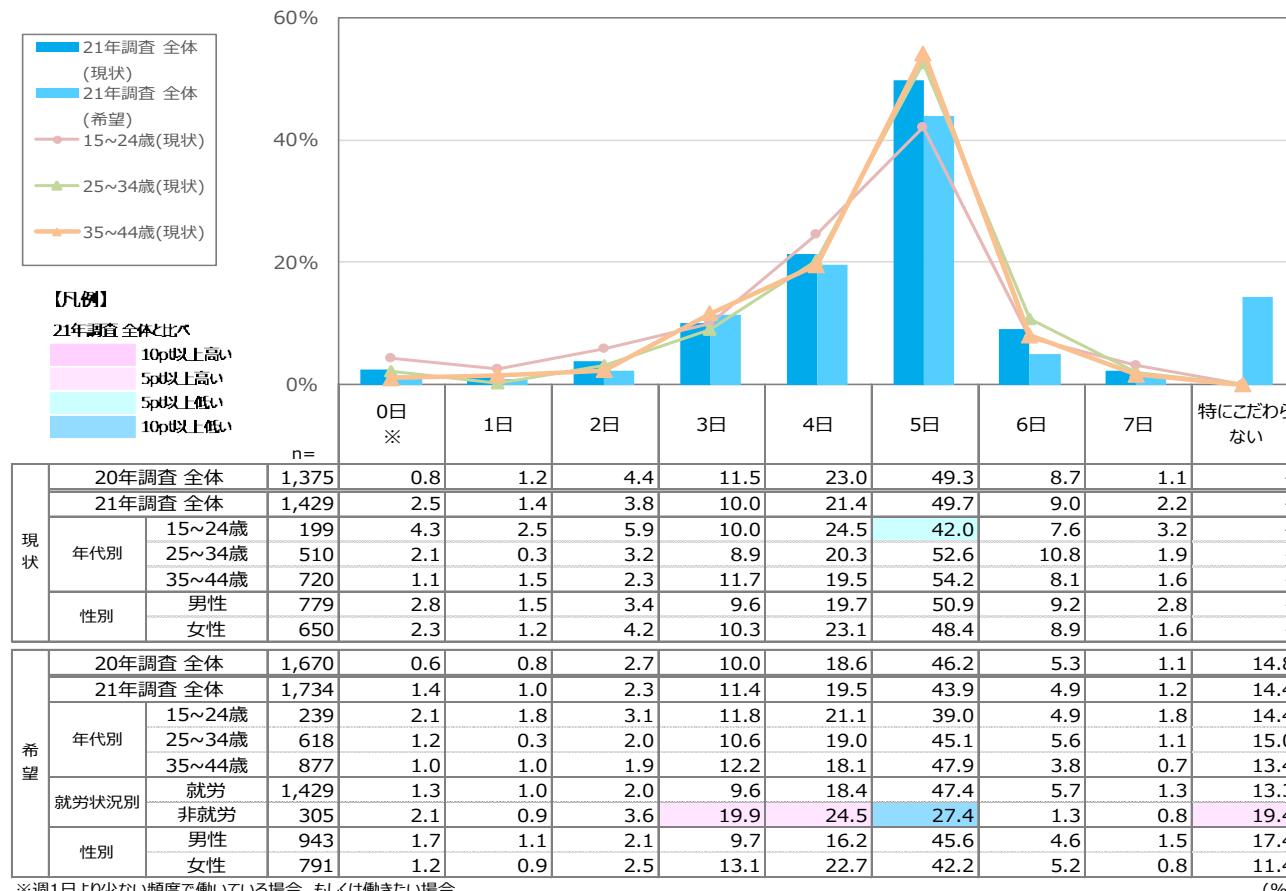
- 全体で経験のある職種を見ると、「飲食・フード（接客・調理）」「販売（コンビニエンスストア・スーパー・マーケット）」「軽作業」が特に高い。
- 年代別でみると、高年層ほど「軽作業」と「工場・製造」の比率が高まる。
- 性別でみると「飲食・フード（接客・調理）」「飲食・フード（販売）」「オフィスワーク・事務」は女性で、「軽作業」は男性で高め。



1週間あたりの勤務日数（現状⇒希望）（単一回答）

- ・全体で【現状の勤務日数】【希望の勤務日数】はいずれも「5日」が最も高い。
- ・年代別でみると、【現状の勤務日数】【希望の勤務日数】はいずれも「5日」は高年層ほど、「4日」は若年層ほど比率が高まる傾向。
- ・【希望の勤務日数】を就労状況別でみると、非就労者で「5日」が低く、「3日」「4日」で高め。

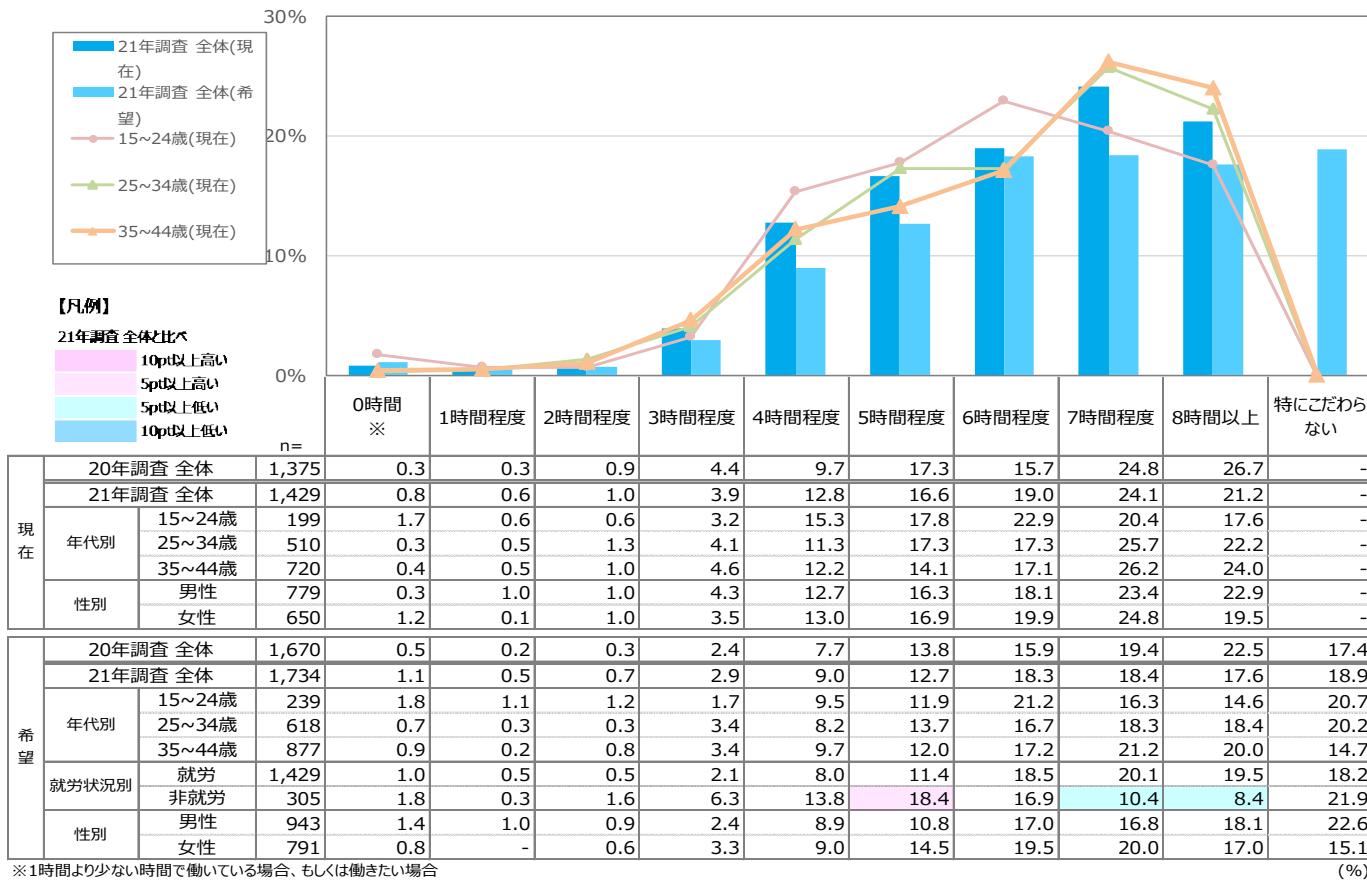
※ベース：1週間あたりの勤務日数_現在の職業がパート・アルバイト／希望する1週間あたりの勤務日数_ALL



1日あたりの勤務時間（現在⇒希望）（単一回答）

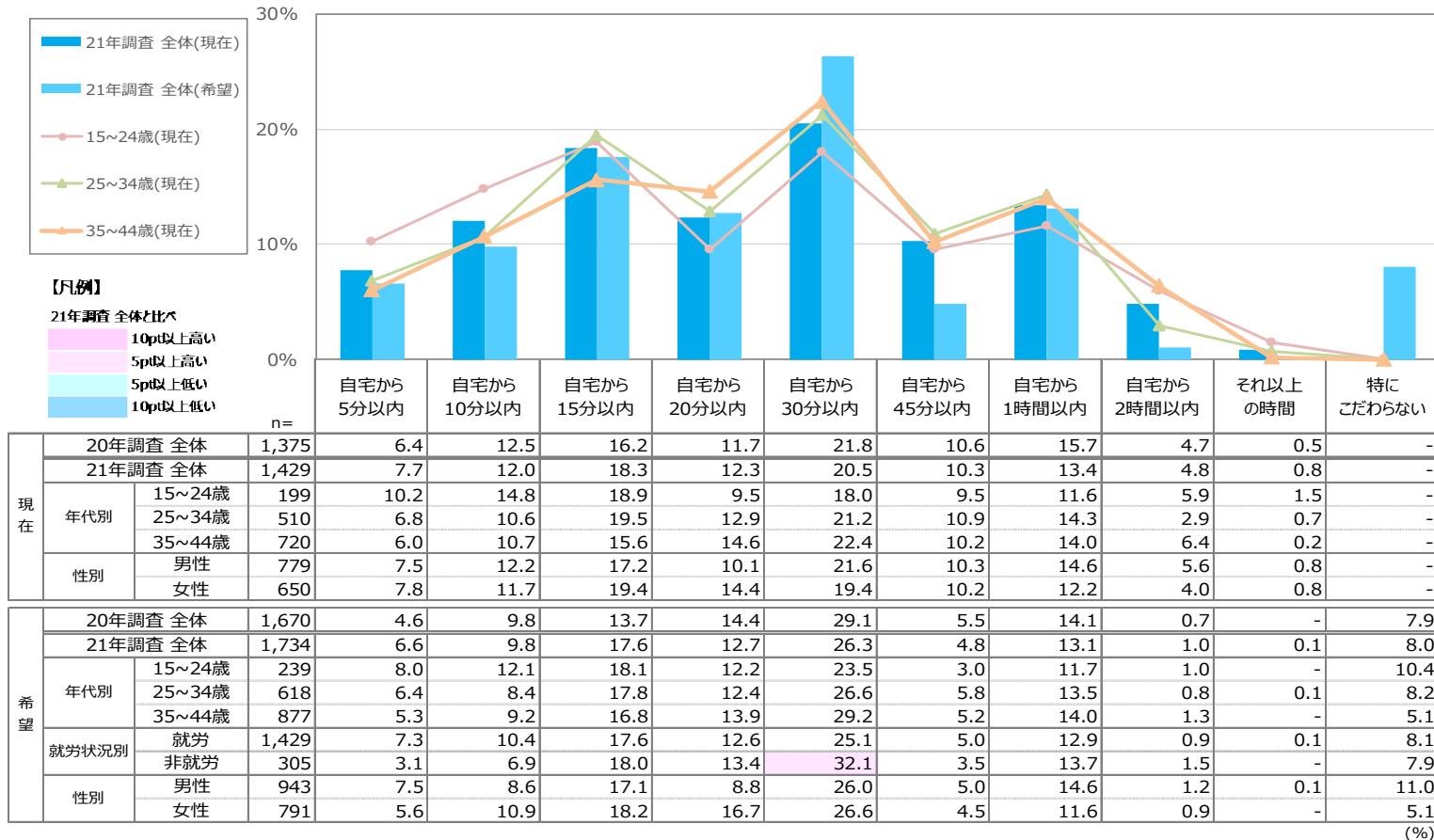
- ・全体で【現在の勤務時間】と【希望の勤務時間】をみると、前回はいずれも「8時間以上」が最も高かったが、今回は約5pt下降し「7時間程度」が最多。
- ・年代別で【現在の勤務時間】と【希望の勤務時間】をみると、「7時間程度」「8時間以上」の長時間勤務は高年層ほど比率が高まる。

※ベース：1日あたりの勤務時間_現在の職業がパート・アルバイト／希望する1日あたりの勤務時間_ALL



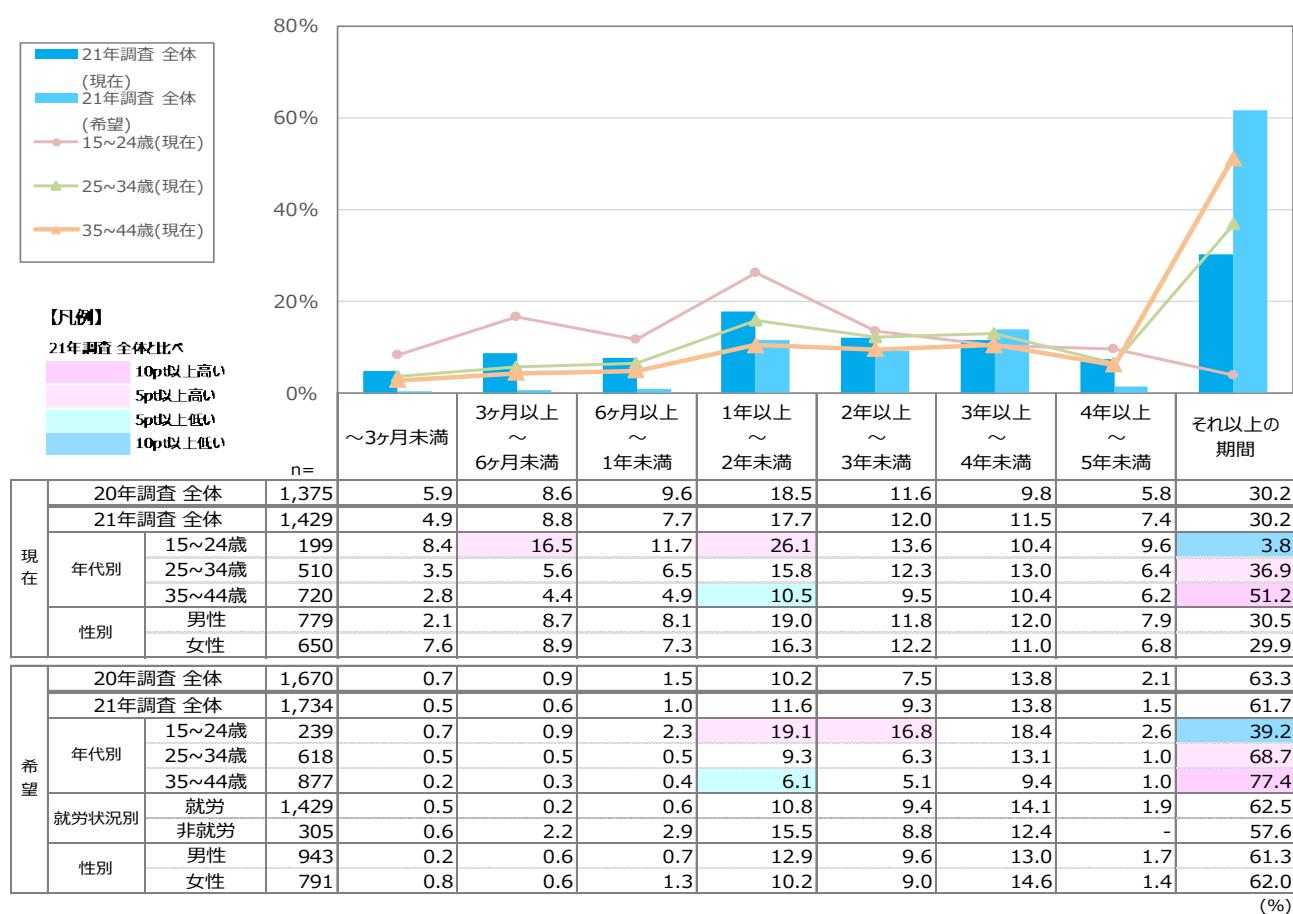
通勤時間（現在↔希望）（単一回答）

- ・全体では、前回同様、【現在の通勤時間】【希望している通勤時間】はいずれも「自宅から30分以内」が最多。
 - ・【希望している通勤時間】について就労状況別でみると、非就労者で「自宅から30分以内」が3割強と高め。
- ※ベース：自宅から勤務先への通勤時間_現在の職業がパート・アルバイト／希望する自宅から勤務先への通勤時間_ALL



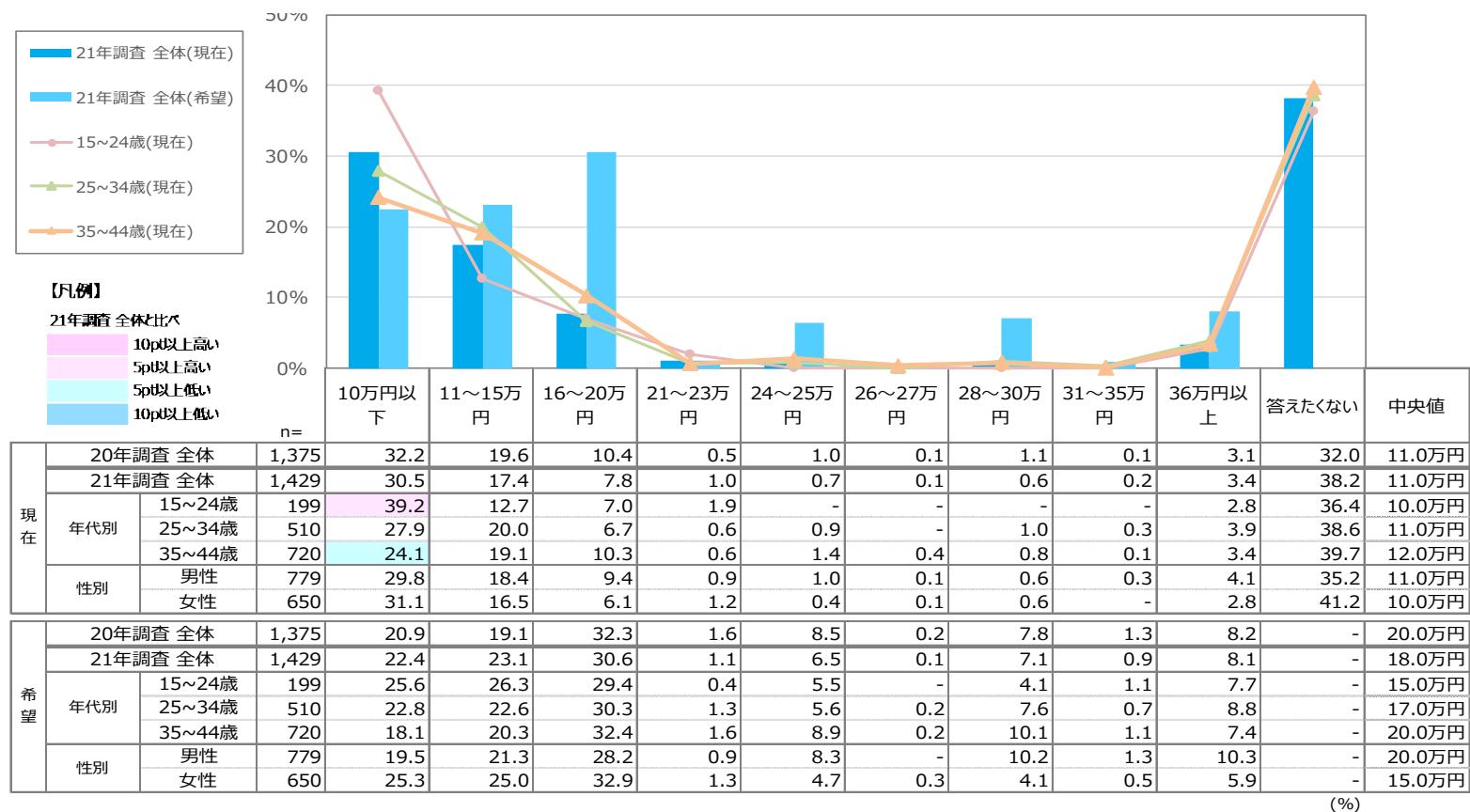
勤続期間（現在↔希望）（単一回答）

- ・【現在の勤続期間】、【希望している勤続期間】はいずれも「それ以上の期間（=5年以上）」が最も高く、【現在】では3割、【希望】では6割。
 - ・年代別でみると、【現在の勤続期間】【希望している勤続期間】のいずれも、「それ以上の期間（=5年以上）」は高年齢ほど比率が高まる。
 - ・一方、「1年以上～2年未満」は若年層ほど比率が高まる。
- ※ベース： 現在の勤務先の勤務期間_現在の職業がパート・アルバイト／理想の勤務期間_ALL



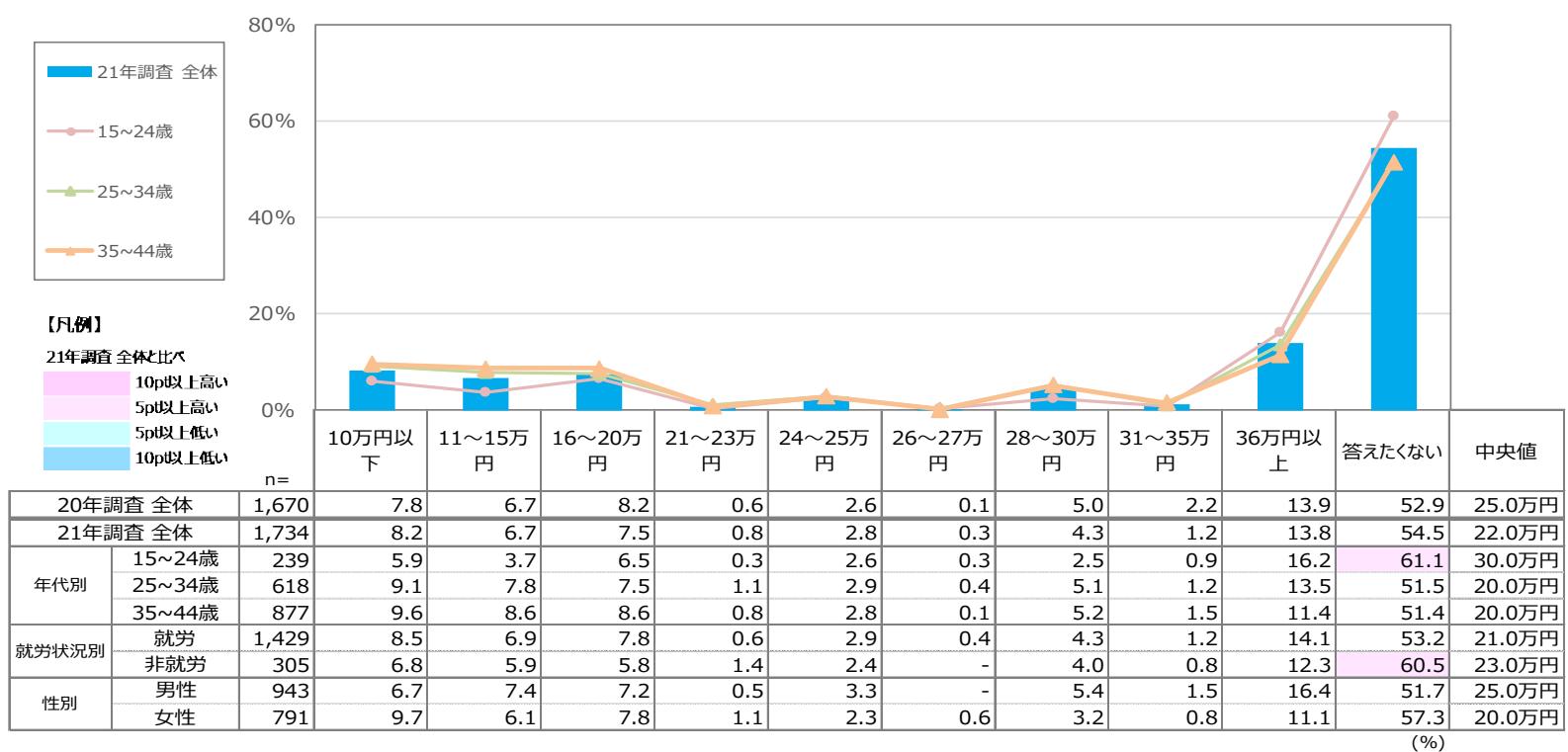
平均月収/希望月収（数値回答）

- ・全体でみると【平均月収（中央値）】は11万円と、前回と同レベル。【希望月収（中央値）】は18万円と、前回よりも2万円低下した。
 - ・年代別でみると、【平均月収（中央値）】【希望月収（中央値）】のいずれも高年齢層ほど高まる。
 - ・性別で【希望月収（中央値）】をみると、男性の20万円に対し女性は15万円と差が大きい。
- ※ベース：現在の職業がパート・アルバイト



世帯月収（数値回答）

- ・全体では【世帯月収（中央値）】は22万円。前回の25万円に比べ、3万円低下した。
- ・性別で【世帯月収（中央値）】をみると、男性の25万円に比べ、女性は20万円と5万円の差がある。

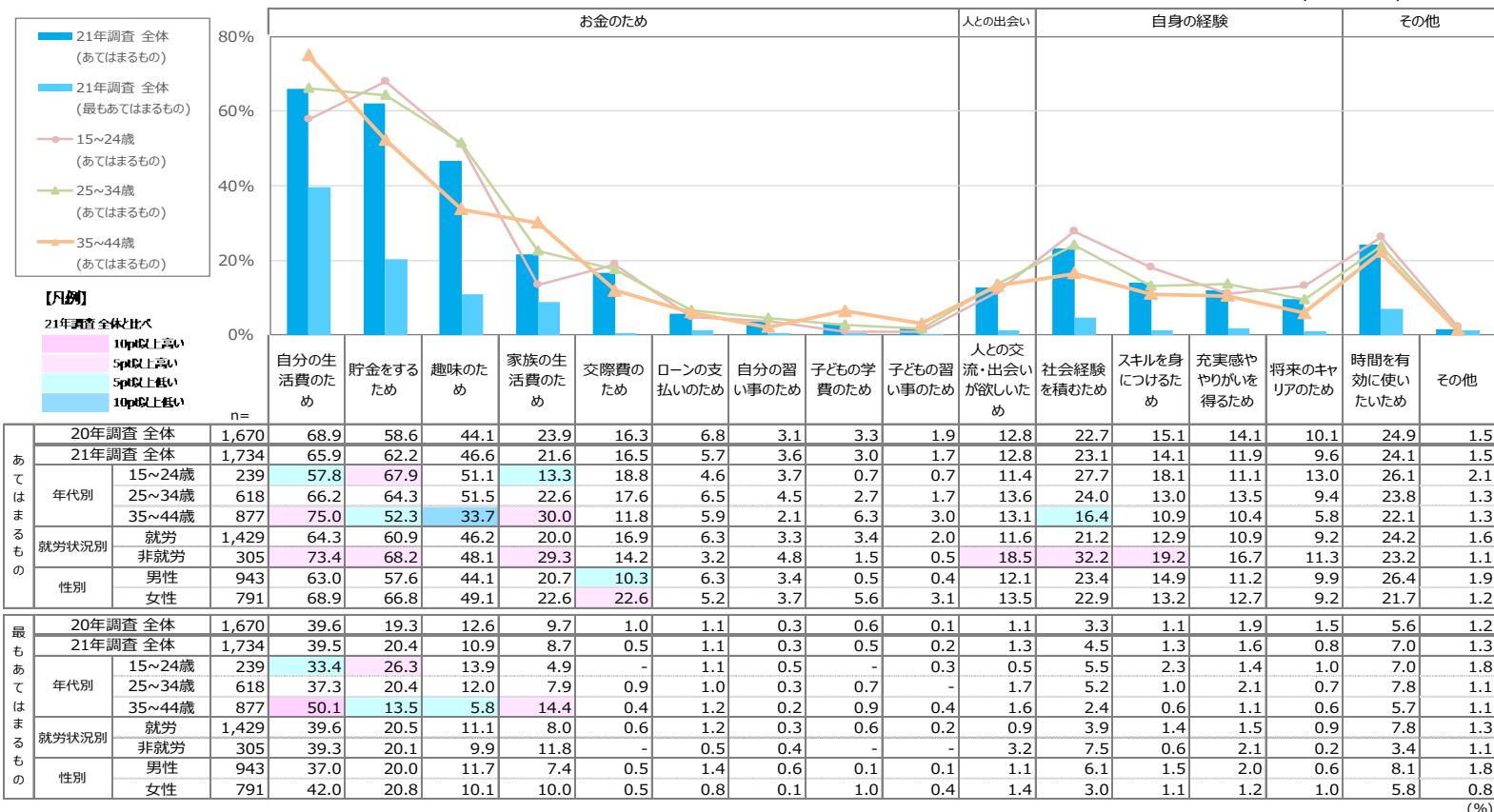


(4) 就労意識

アルバイト（就労）の目的（単一回答・複数回答）

- 全体で【あてはまるもの】をみると、「自分の生活費のため」「貯金をするため」「趣味のため」「家族の生活費のため」など『お金のため』が上位。
- 一方、『人との出会い』『自身の経験』は低め。
- 年代別でみると、「貯金をするため」「社会経験を積むため」などは若年層ほど、「自分の生活費のため」「家族の生活費のため」は高年層ほど比率が高まる。
- 性別でみると、「交際費」は男性 < 女性。

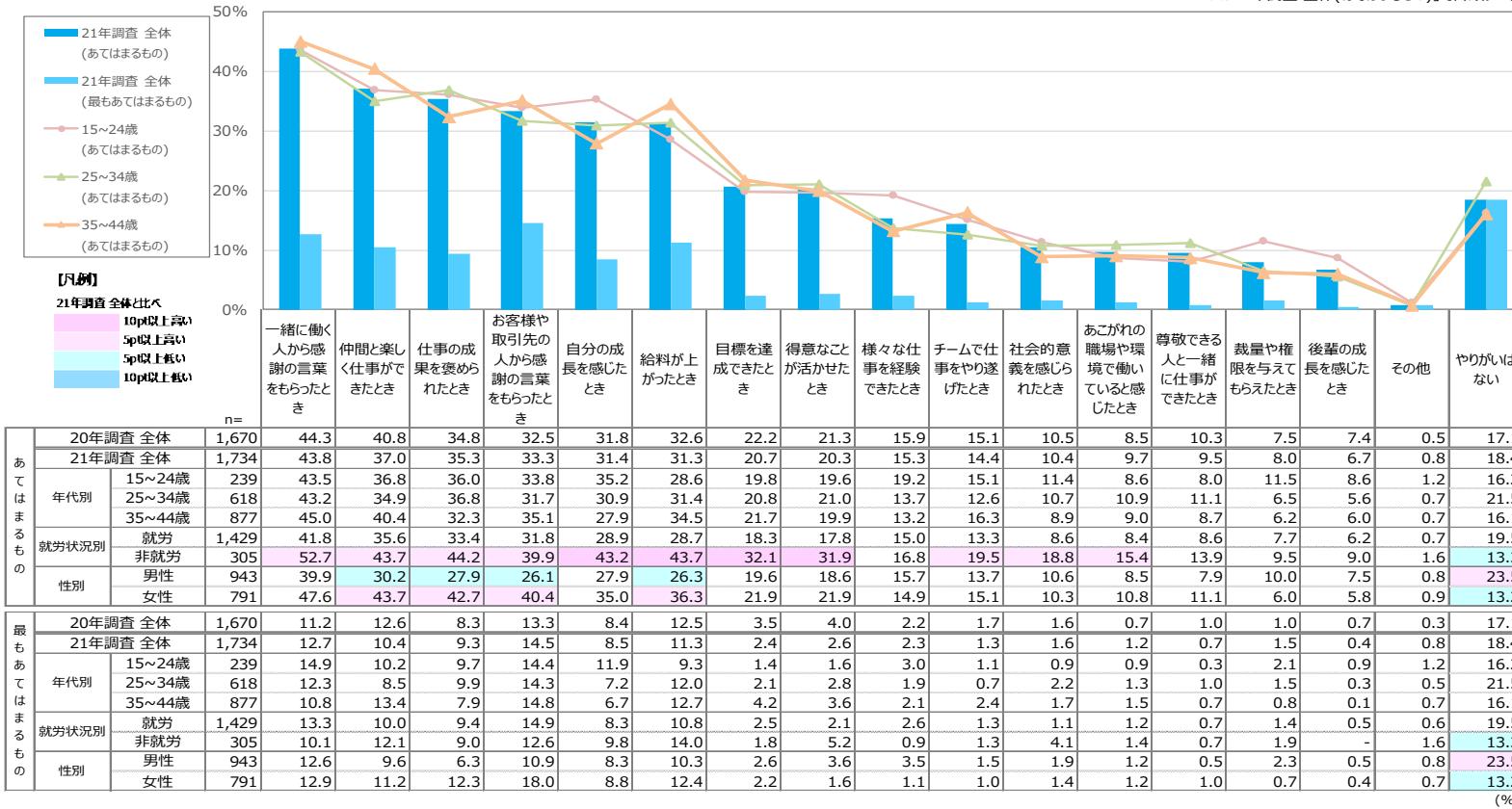
※各カテゴリ内について「21年調査 全体(あてはまるもの)」で降順ソート



やりがい（複数回答/単一回答）

- 全体で【やりがいとして当てはまるもの】をみると、「仲間と楽しく仕事ができたとき」のほか、「一緒に働く人から感謝の言葉をもらったとき」「仕事の成果を褒められたとき」「お客様や取引先の人から感謝の言葉をもらったとき」など『承認欲求が満たされた』ことが特に高い。
- 年代別でみると、「自分の成長を感じたとき」は若年層ほど比率が高まる。
- 性別でみると、多くの項目において女性が男性を上回る。

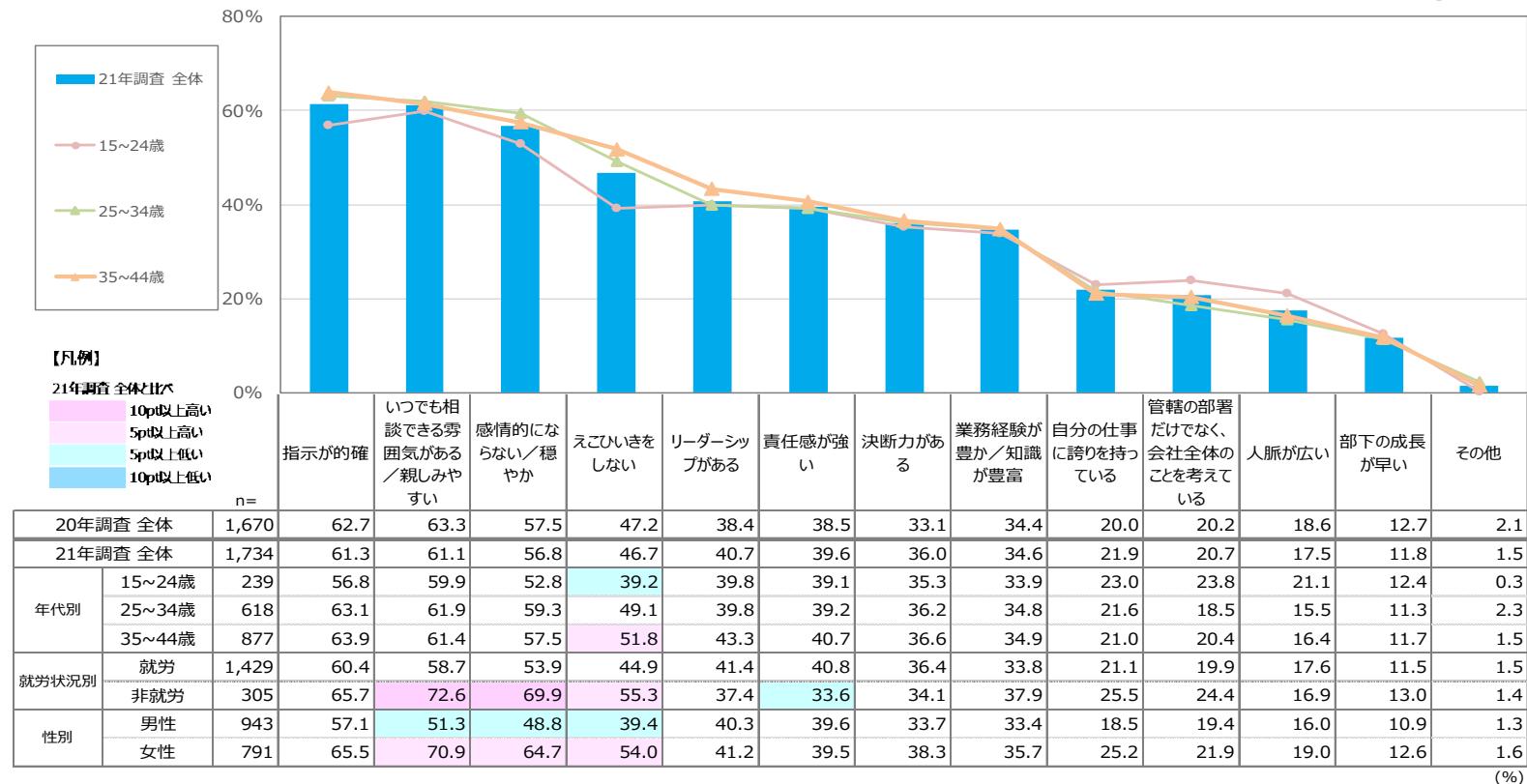
※「21年調査 全体(あてはまるもの)」で降順ソート



理想の上司像（複数回答）

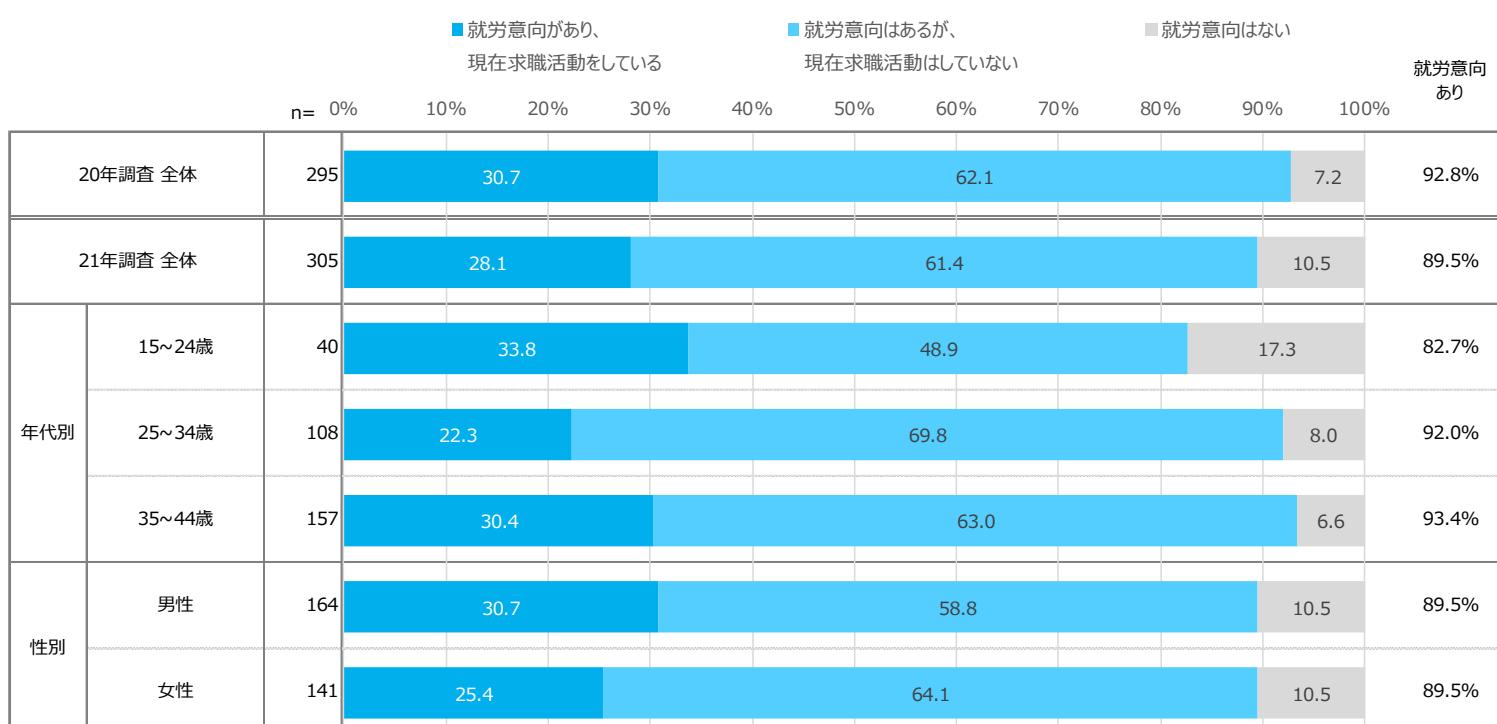
- ・全体では、「指示が的確」「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」「感情的にならない／穏やか」などが特に高い。
- ・年代別でみると、「えこひいきをしない」は高年層ほど高まる。
- ・「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」「感情的にならない／穏やか」「えこひいきをしない」など『人間性』については、非就労者や女性で高め。

※「21年調査 全体」で降順ソート



就労意向と求職活動有無（非就労者）（単一回答）

- ・現在無職の人たち、「就労意向がある」人は9割、そのうち「現在求職活動をしている」人は3割。
 - ・前回に比べ「就労意向がある」人、および「現在求職活動をしている」人の比率がわずかに低下した。
 - ・年代別でみると、15～24歳で「就労意向がある」人が8割強と低めであるが、「現在求職活動をしている」人は3割強と、他の年代よりも高い。
 - ・性別でみると、「就労意向がある」人の比率は同率であるが、「現在求職活動をしている」人の比率は男性が女性を上回る。
- ※ベース：現在非就労

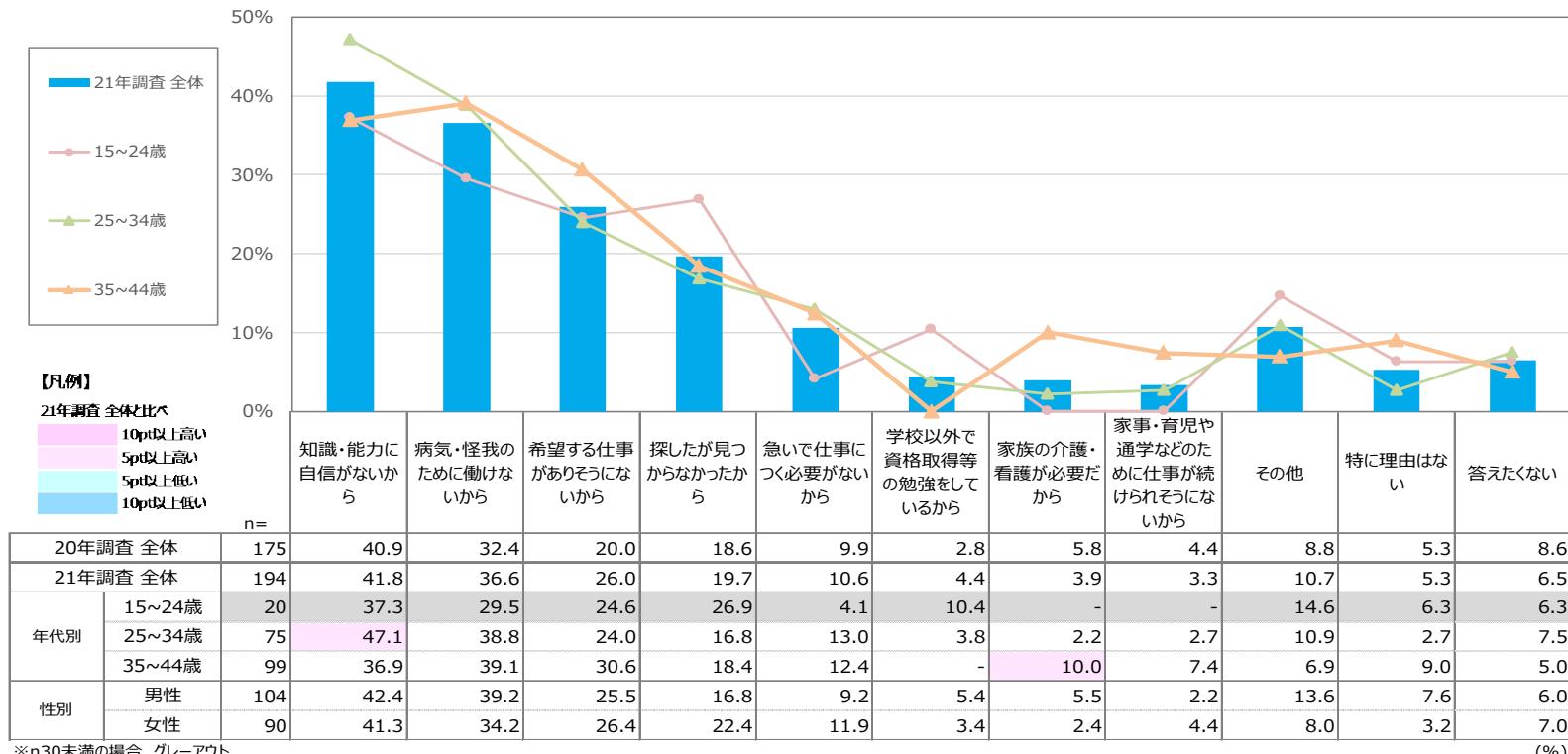


求職活動していない理由（非就労者）（複数回答）

- 【就労意向はあるが求職活動をしていない理由】をみると、「知識・能力に自信がないから」が最も高く、次いで「病気・怪我のために働けないから」が続く。
- 年代別でみると、35～44歳で「家族の介護・看護が必要だから」がやや高め。
- 性別でみると、多くの項目について男性が女性をやや上回る。

※ベース：就労意向はあるが求職活動していない

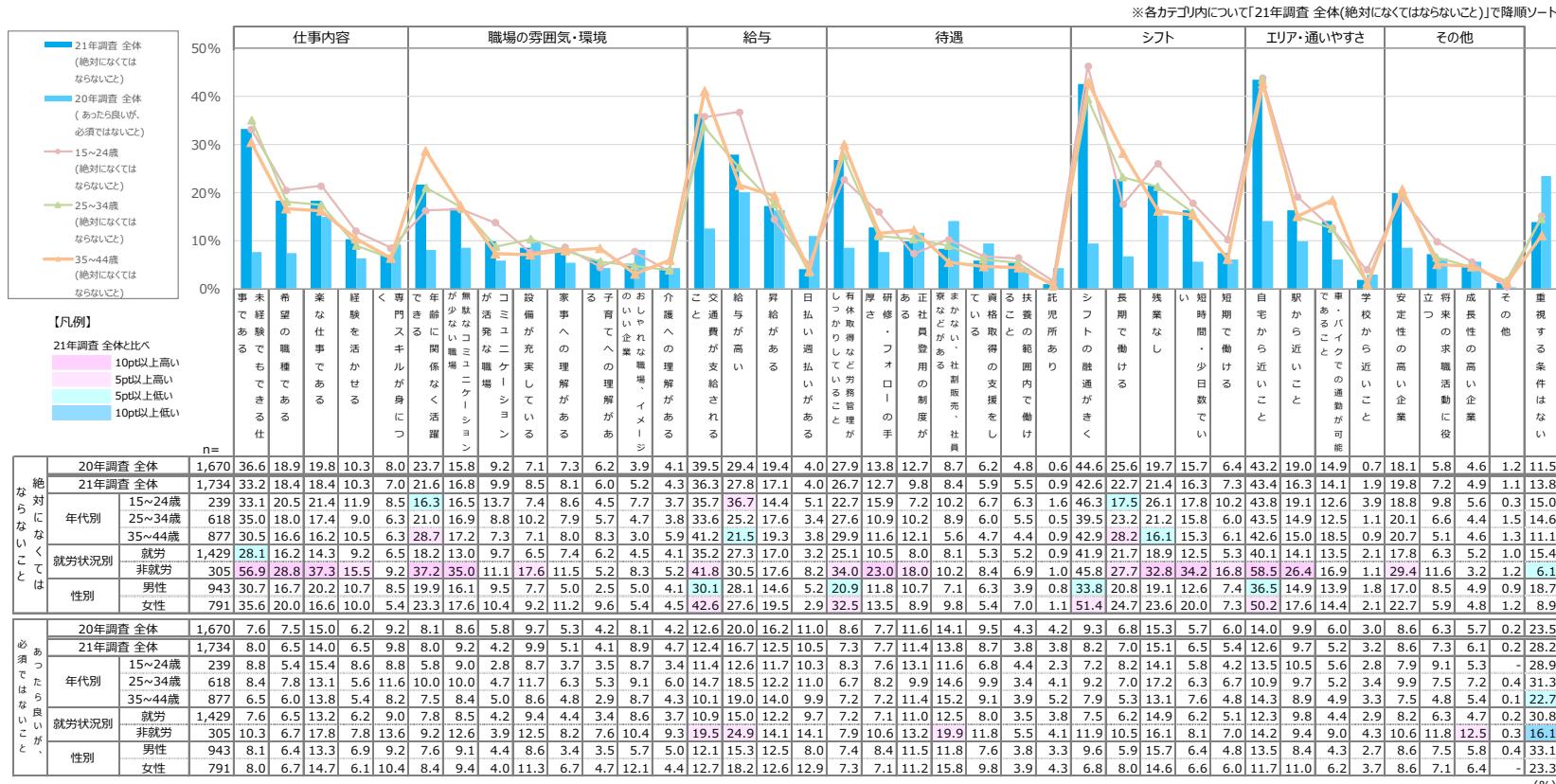
※「21年調査 全体」で降順ソート



(5) 仕事さがし

仕事探し時の絶対条件：絶対になくてはならないこと／あつたら良いが、必須ではないこと（複数回答）

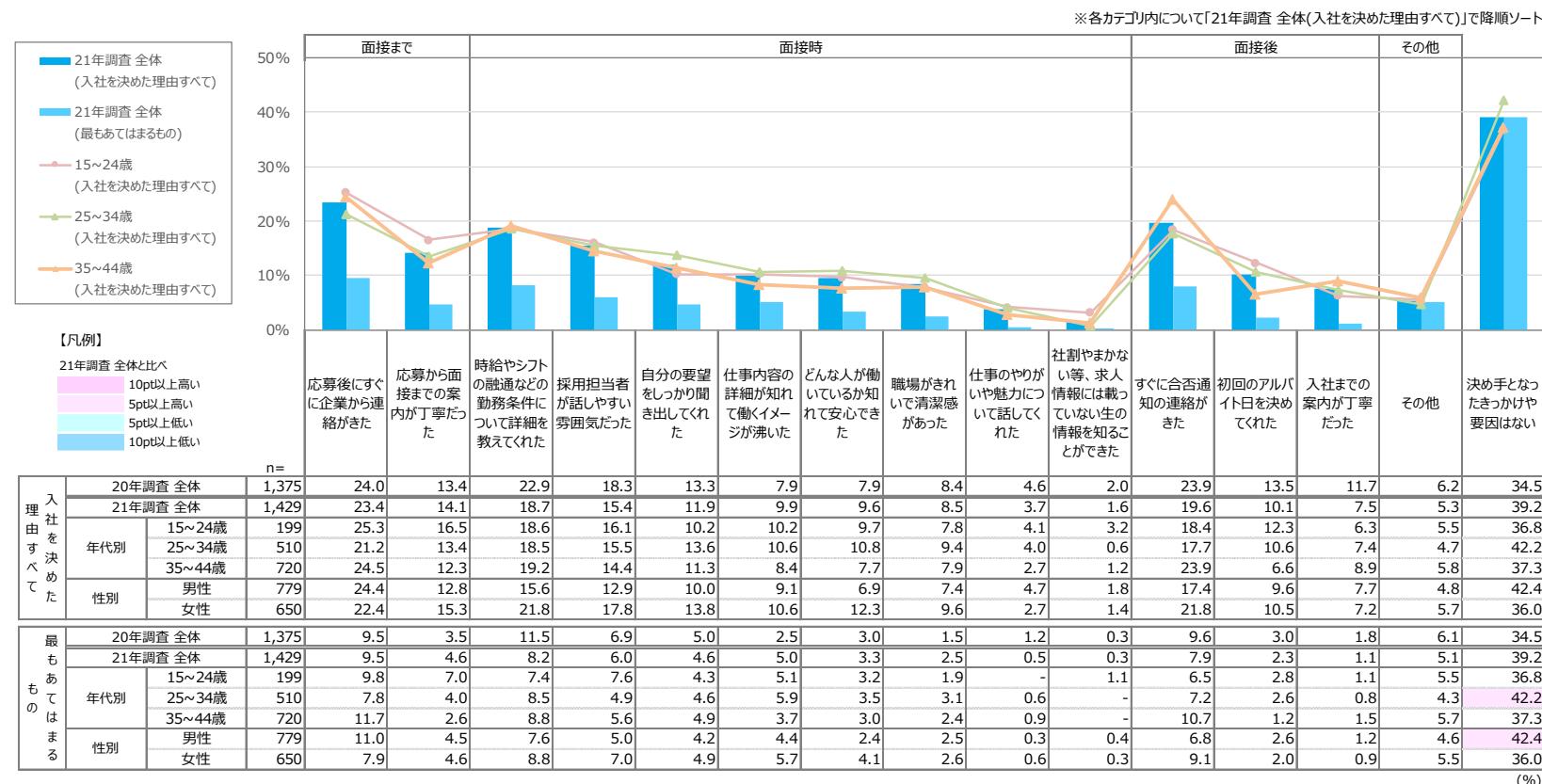
- 全体で【仕事探し時の絶対条件】をみると、「自宅から近いこと」「シフトの融通がきく」「交通費が支給されること」「未経験でもできる仕事である」などが3~4割と特に高い。
- 年代別でみると、「年齢に関係なく活躍できる」「長期で働く」は高年齢ほど、「給与が高い」「残業無し」は若年齢ほど比率が高まる。
- 全体で【あつたら良いが、必須ではないこと】をみると、「給与が高い」「残業なし」「楽な仕事である」などが上位にあがる。



入社の決め手（複数回答・単一回答）

- 全体で【入社を決めた理由すべて】は、「応募後にすぐに企業から連絡がきた」「すぐに合否通知の連絡がきた」など『迅速な連絡』のほか、「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた」などが2割前後で特に高い。

※ベース：現在の職業がパート・アルバイト

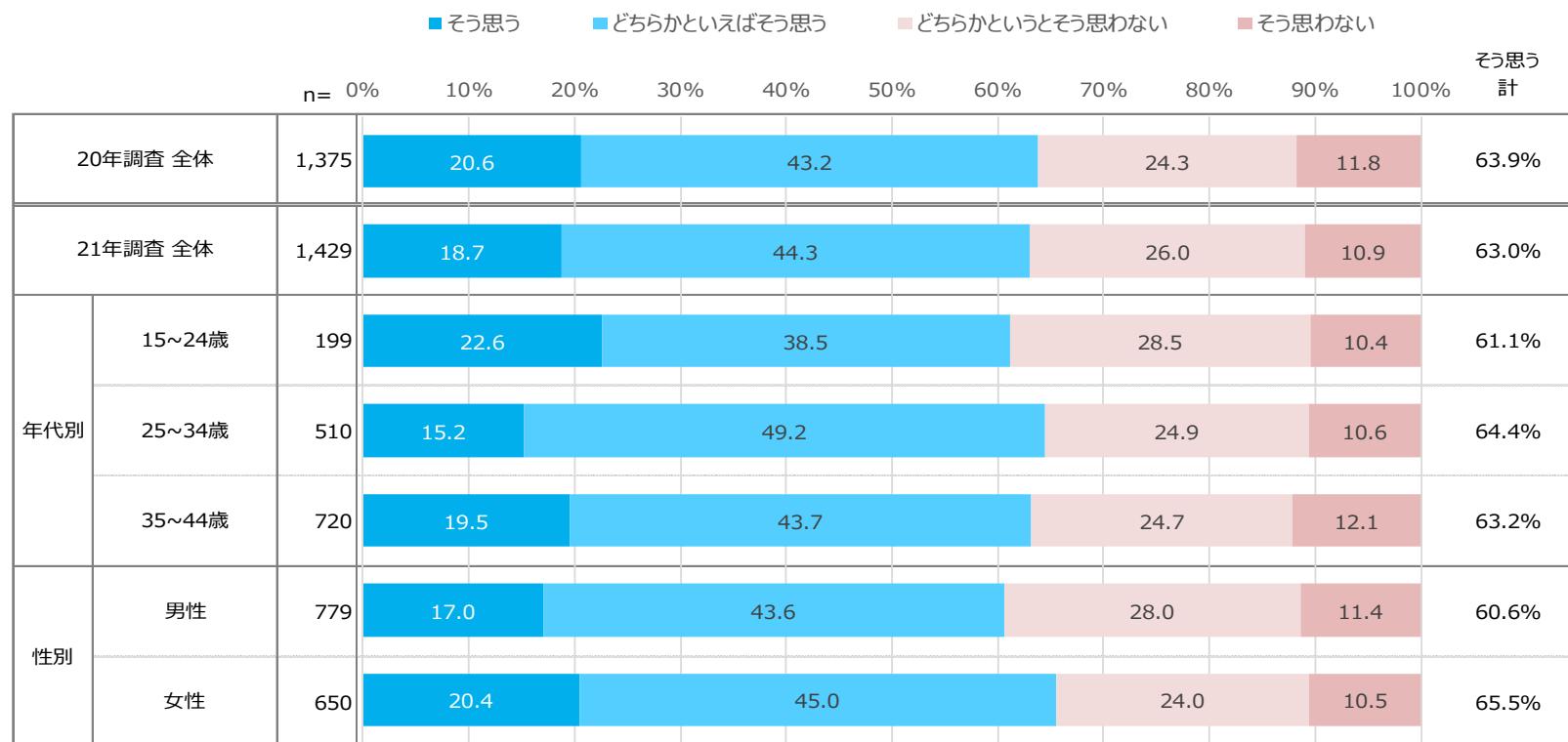


(6) 離職・定着

現アルバイト先での継続就業意向（単一回答）

- ・全体では、現アルバイト先での継続就業意向は6割強と、前回とほぼ同レベル。
- ・年代別でみると、15～24歳で「そう思う」が2割強と、他の年代よりも高い。
- ・性別でみると、女性のほうが継続就業意向がやや高い。

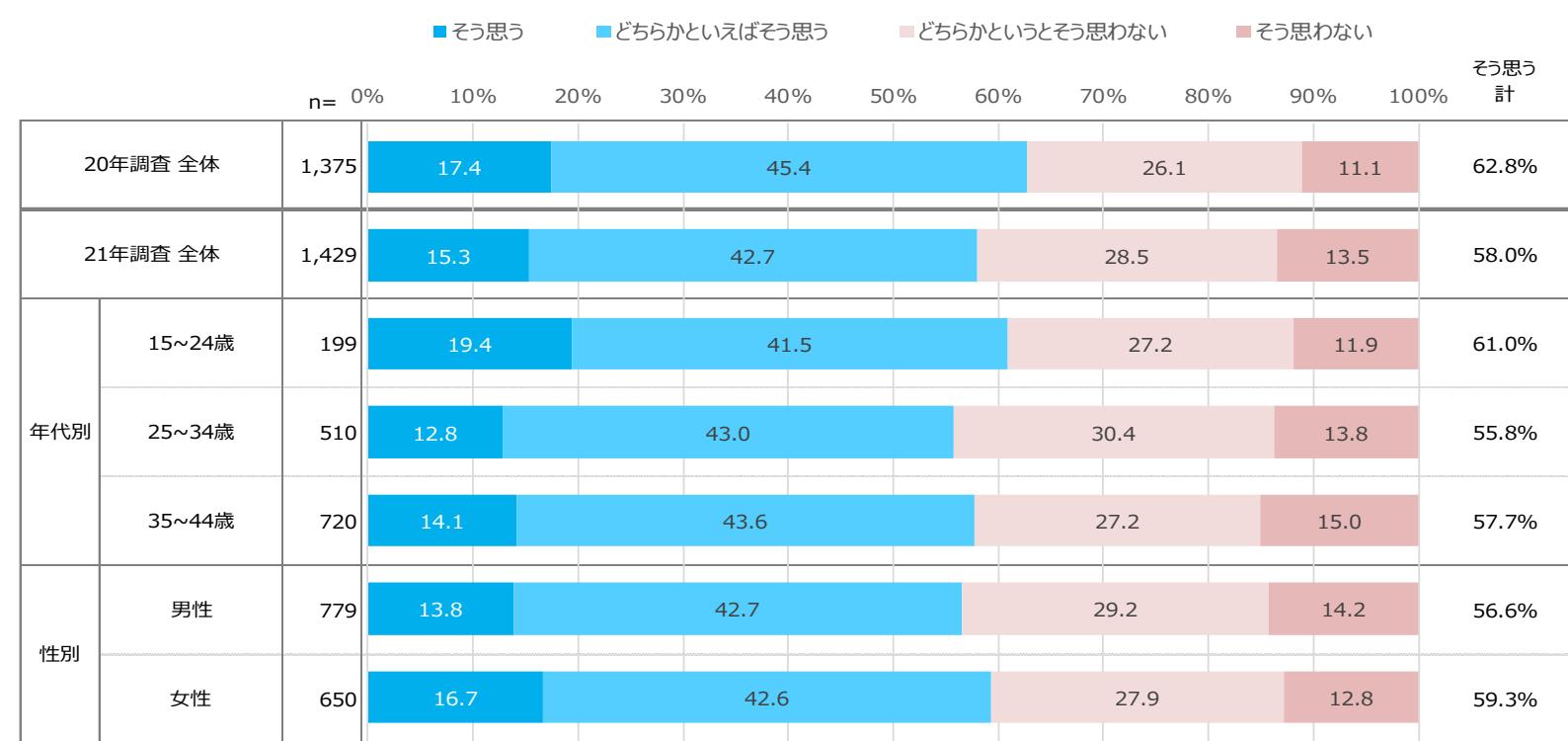
※ベース：現在の職業がパート・アルバイト



現アルバイト先での満足度（単一回答）

- ・全体では、現アルバイト先での満足度は6割弱と、前回よりもやや低下。
- ・年代別でみると、15～24歳で「そう思う」が2割と、他の年代よりも高い。

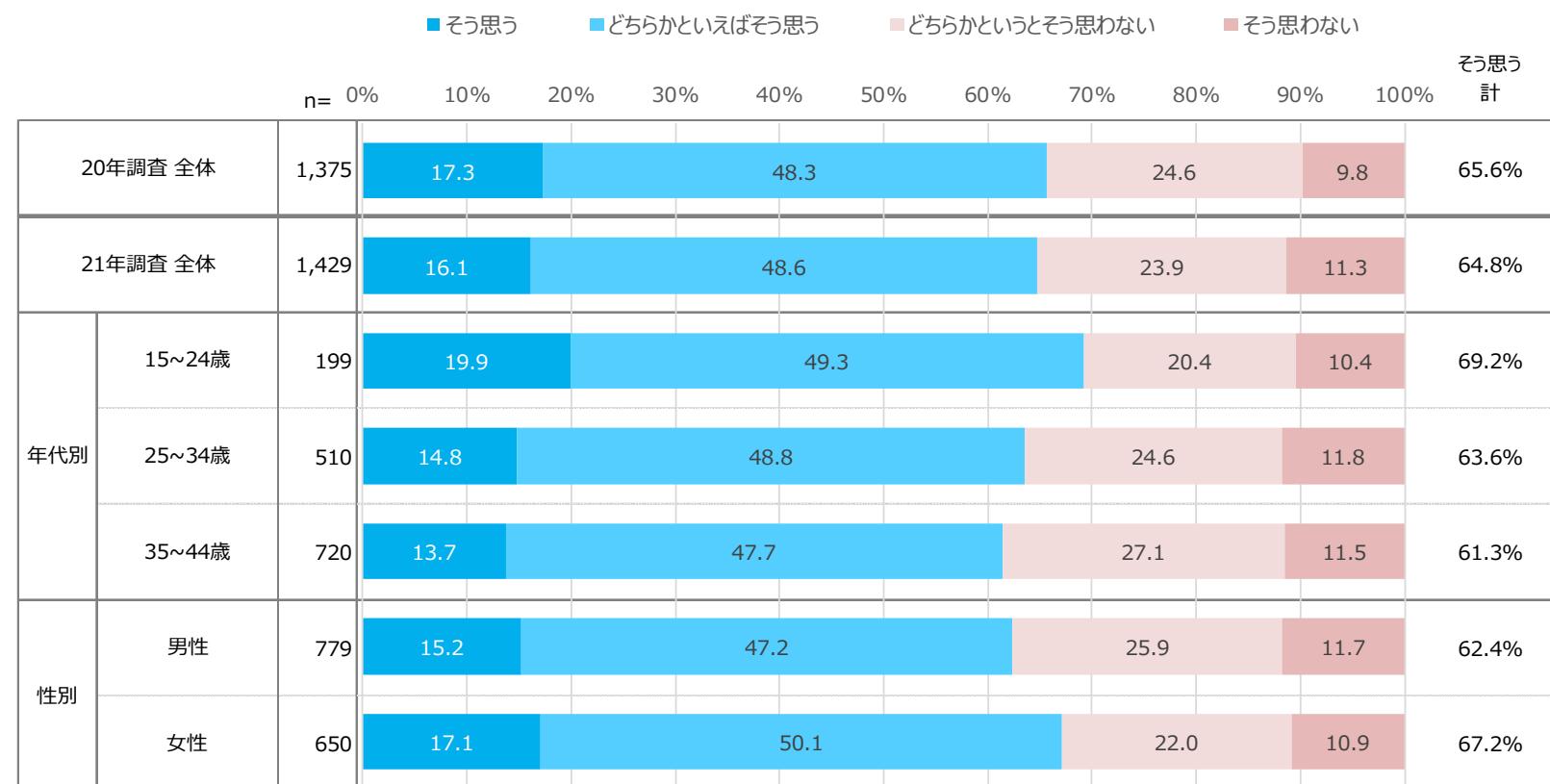
※ベース：現在の職業がパート・アルバイト



現アルバイト先での前向きさ（単一回答）

- ・全体では、現アルバイト先で前向きに取り組める人回答した人の比率は6割台半ばと、前回とほぼ同レベル。
- ・年代別でみると、若年層ほど現アルバイト先で前向きに取り組める人の比率が高まる。
- ・性別でみると、女性のほうが前向きに取り組める人の比率がやや高い。

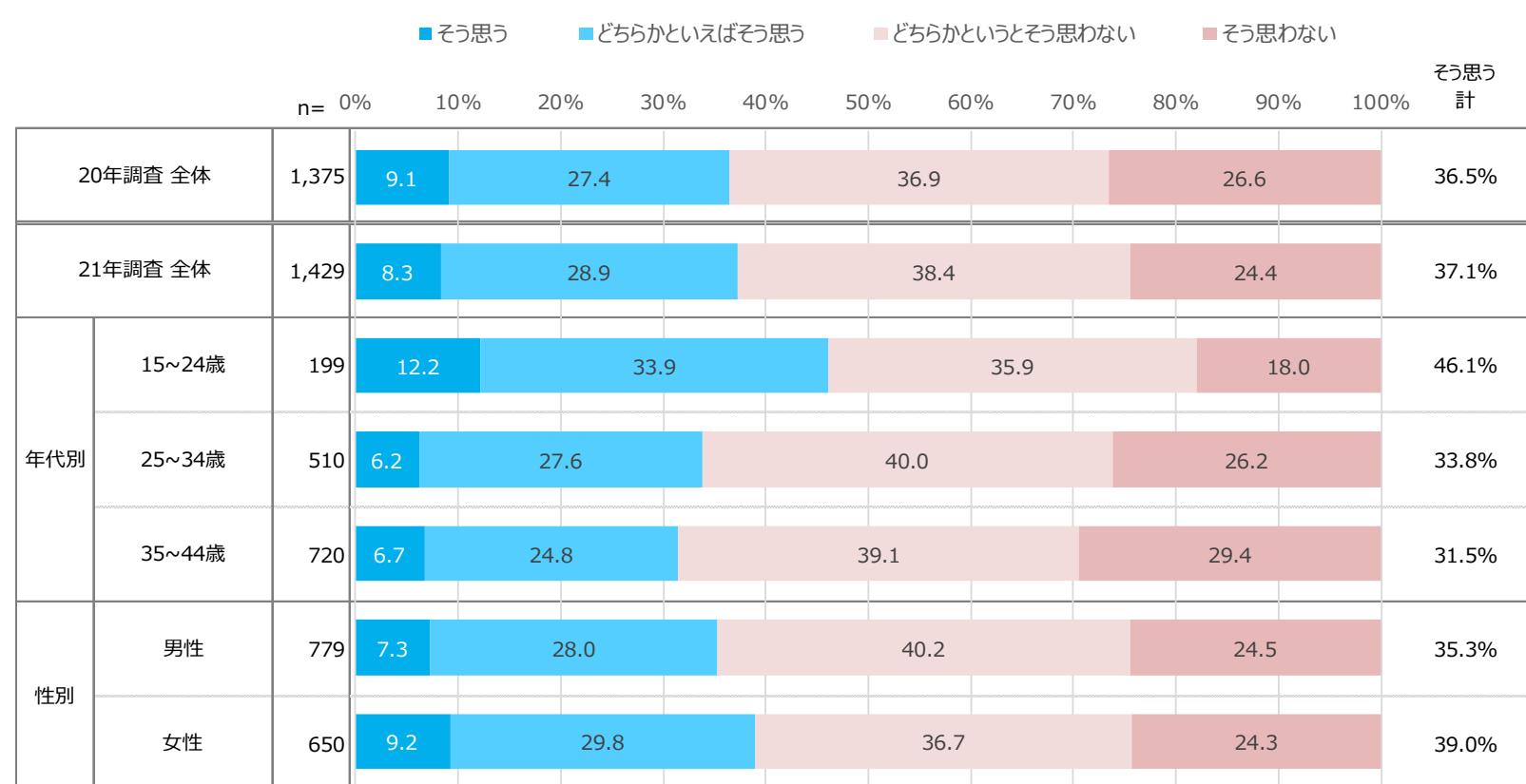
※ベース：現在の職業がパート・アルバイト



現アルバイト先の勤務推奨意向（単一回答）

- ・全体では、現アルバイト先での勤務推奨意向度は4割弱と、前回とほぼ同レベル。
- ・年代別でみると、若年層ほど勤務推奨意向度が高まる。

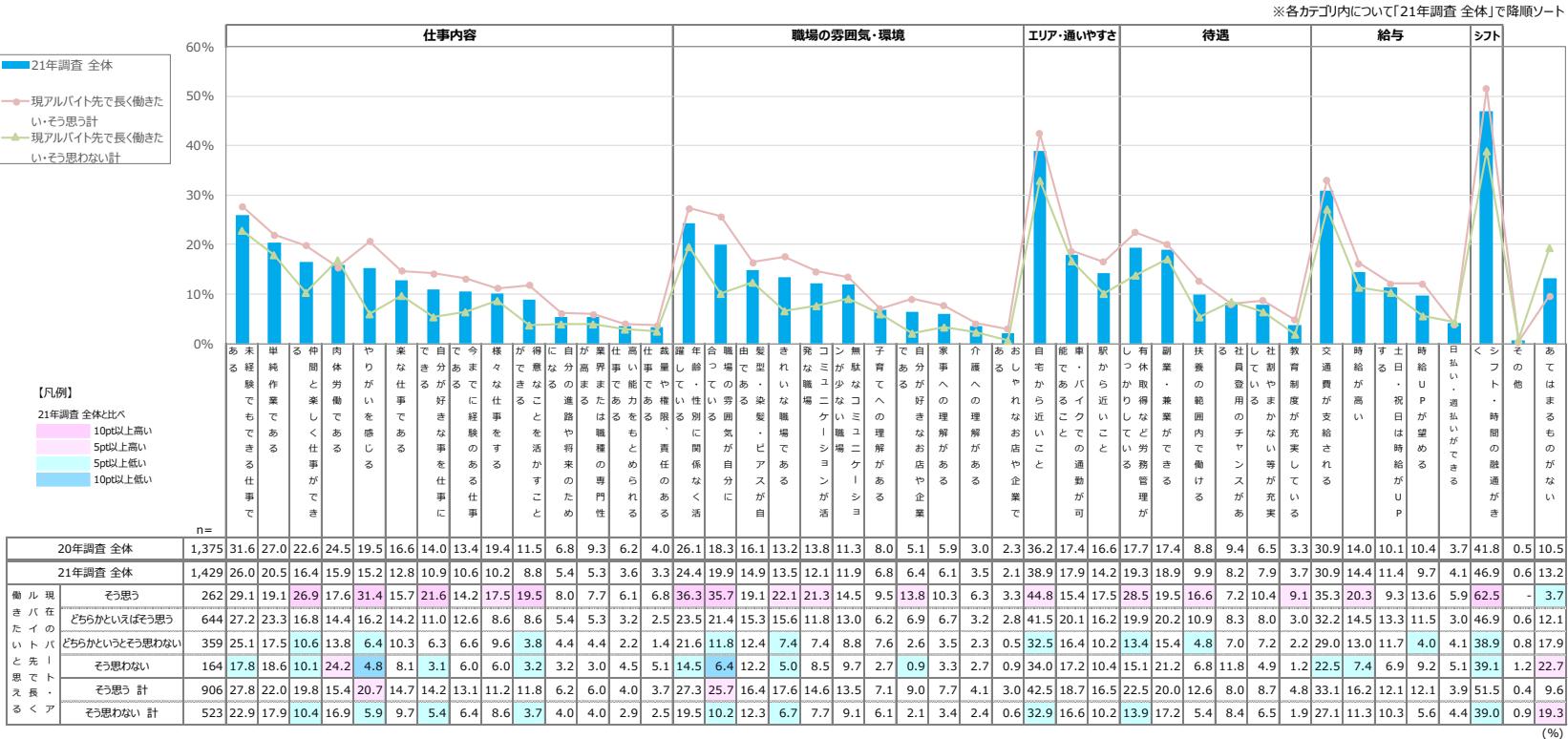
※ベース：現在の職業がパート・アルバイト



勤務先の実情（複数回答）

- 全体では、「シフト・時間の融通がきく」「自宅から近いこと」「交通費が支給される」「未経験でもできる仕事である」が特に高い。
- 前回に比べ「肉体労働である」「様々な仕事をする」が大きく低下した。
- 現在のパート・アルバイト先で長く働きたいと思える別でみると、そう思う人で「シフト・時間の融通がきく」が特に高いほか、項目全般について高め。
- 一方、そう思わない人で「やりがいを感じる」「職場の雰囲気が自分に合っている」が全体に比べ顕著に低い。

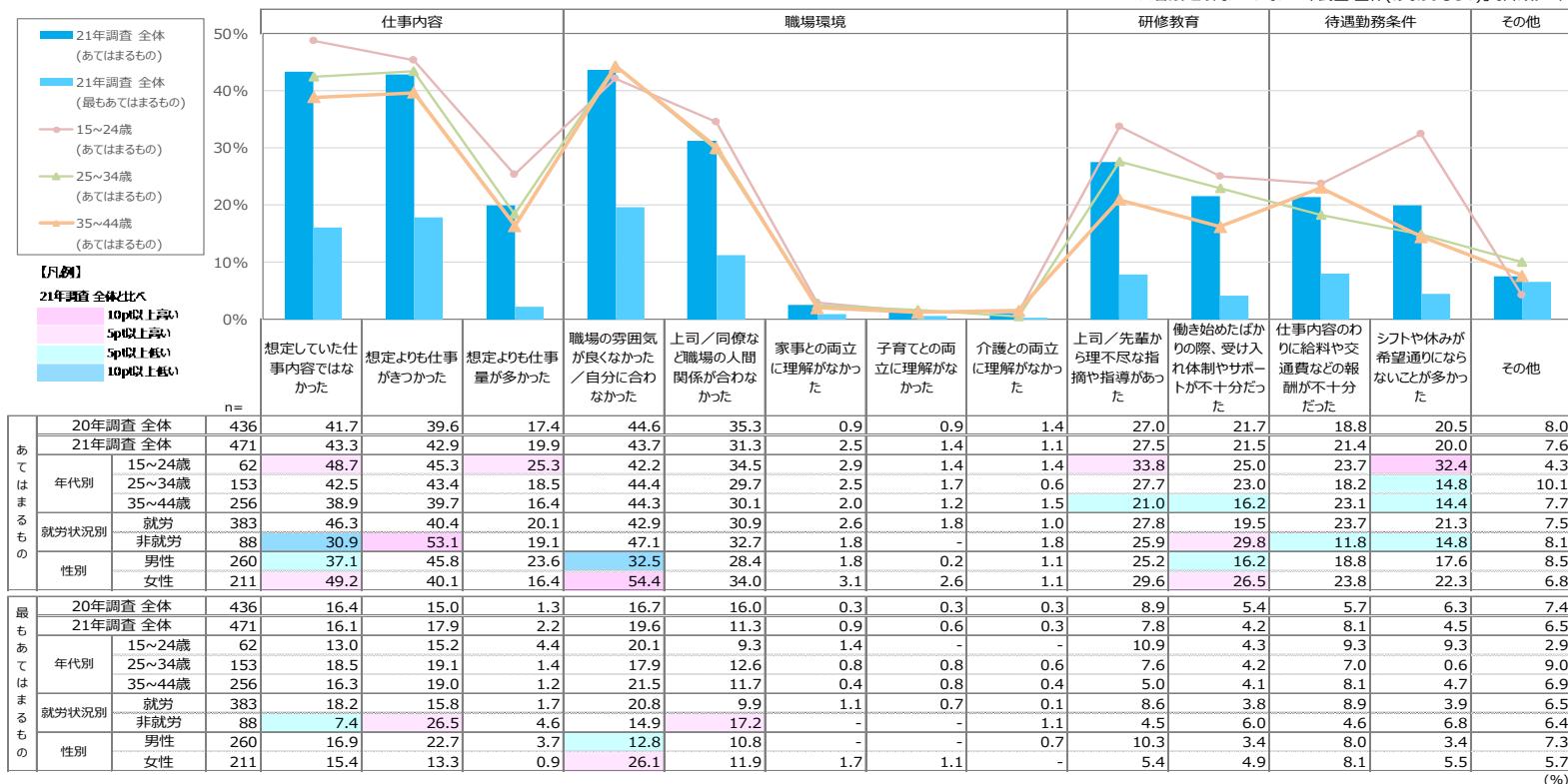
※ベース：現在の職業がパート・アルバイト



早期離職要因（複数回答・単一回答）

- ・全体で【あてはまるもの】をみると、「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」「想定していた仕事内容ではなかった」「想定よりも仕事がきつかった」が、前回同様、4割前後と特に高い。
 - ・年代別でみると、15～24歳で「想定していた仕事内容ではなかった」「上司／先輩から理不尽な指摘や指導があった」「シフトや休みが希望通りにならないことが多かった」「想定よりも仕事量が多かった」が全体よりも高め。
 - ・性別でみると、女性で「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」が顕著に高い。
- ※ベース：今までパート・アルバイトを早期離職した経験がある

※各カテゴリ内について「21年調査 全体(あてはまるもの)」で降順ソート

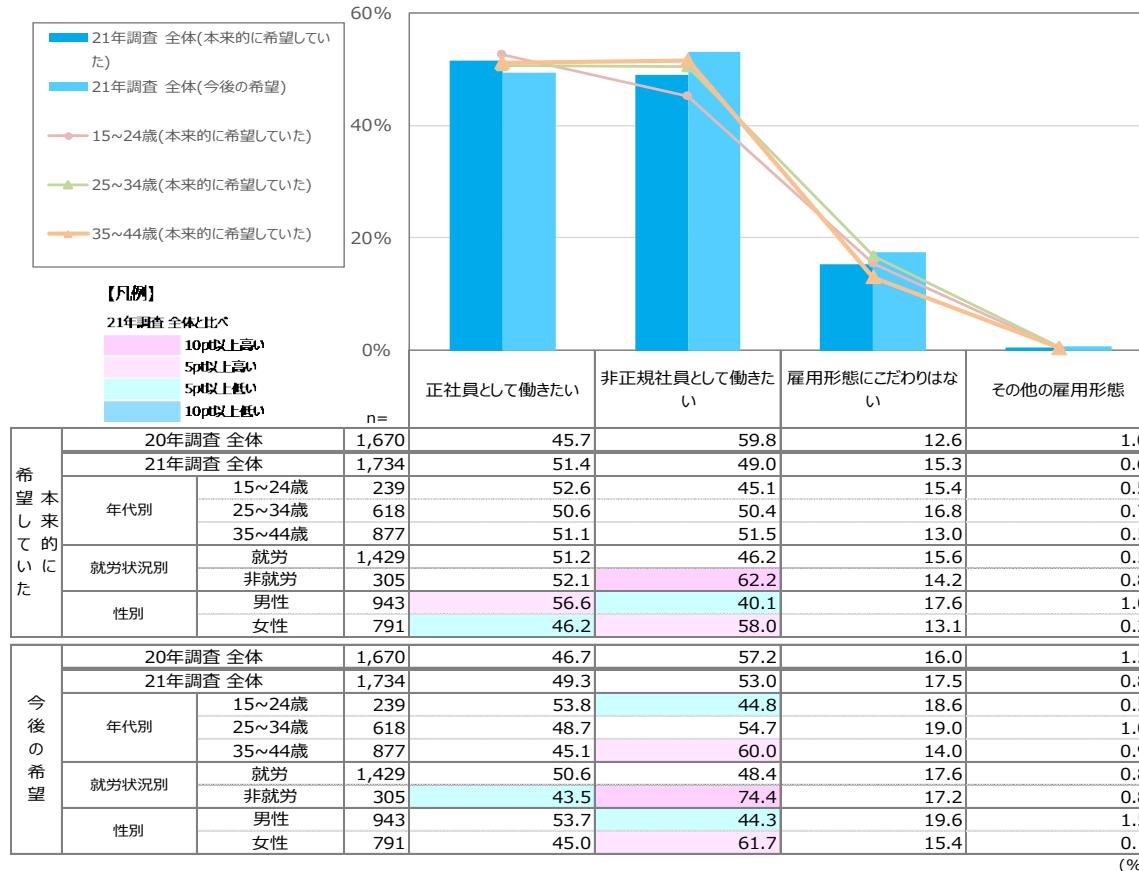


(%)

(7) 今後の意向

希望する雇用形態（複数回答）

- ・全体で【本来的に希望していた雇用形態】、【今後希望する雇用形態】のいずれも、「正社員として働きたい」と「非正規社員として働きたい」が5割前後。
 - ・【本来的に希望していた雇用形態】は、前回に比べ「正社員として働きたい」が約6pt上昇、「非正規社員として働きたい」の比率が約11pt低下した。
 - ・【本来的に希望していた雇用形態】について性別でみると、「正社員として働きたい」は男性>女性、「非正規社員として働きたい」は男性<女性。
- ※正社員＝「フルタイム正社員」+「短時間正社員」、非正社員＝「アルバイト・パート」+「契約社員」+「派遣社員」+「業務委託契約を結んで働く人」

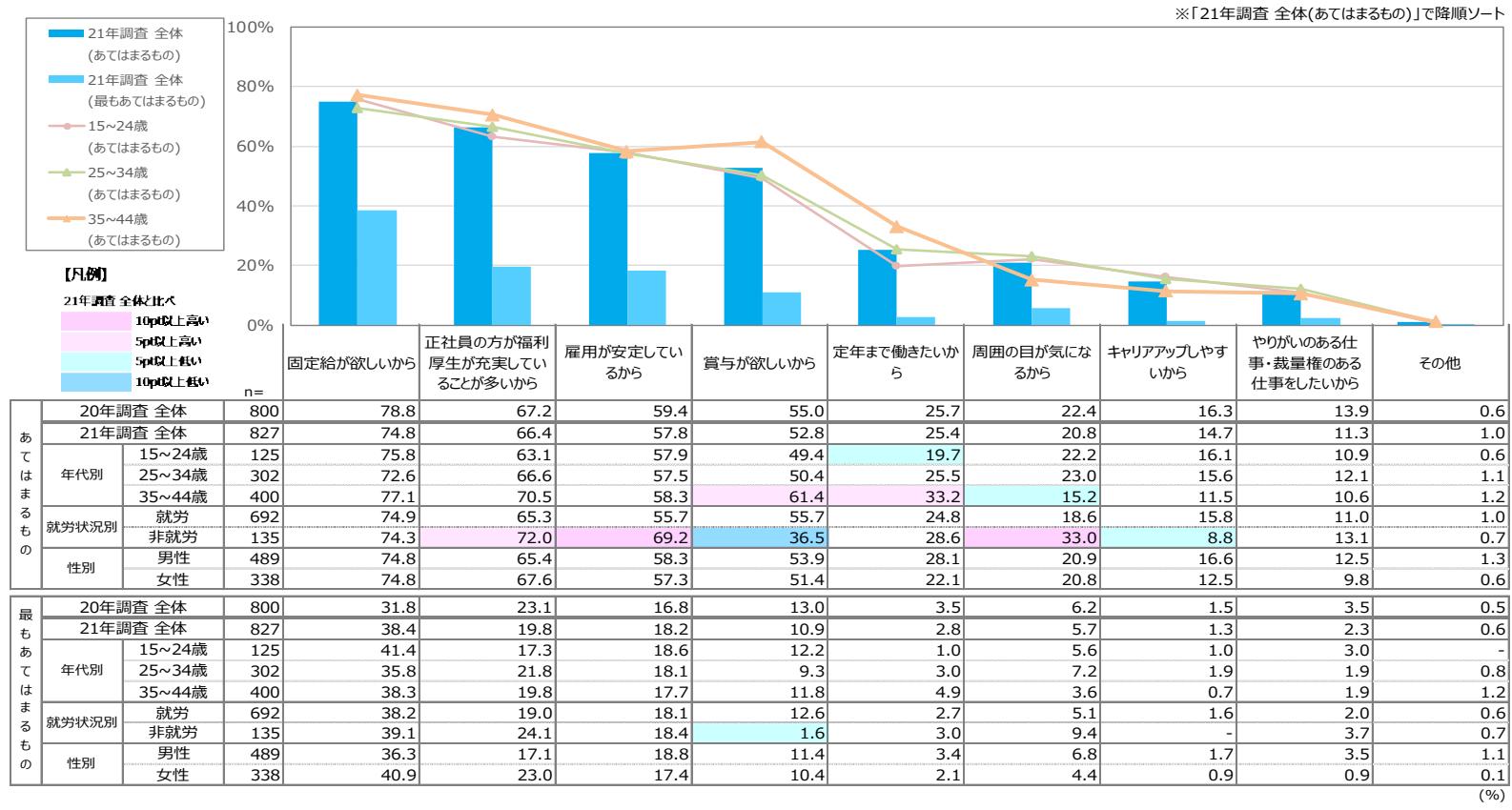


正社員意向有りの理由（複数回答・単一回答）

- ・全体で【あてはあるもの】をみると、「固定給が欲しいから」「正社員の方が福利厚生が充実していることが多いから」「雇用が安定しているから」「賞与が欲しいから」など『収入』や『待遇』が特に高い。
- ・年代別でみると、35~44歳で「賞与が欲しいから」「定年まで働きたいから」が全体よりもやや高め。

※ベース：今後、正社員意向あり

※正社員＝「フルタイム正社員」+「短時間正社員」

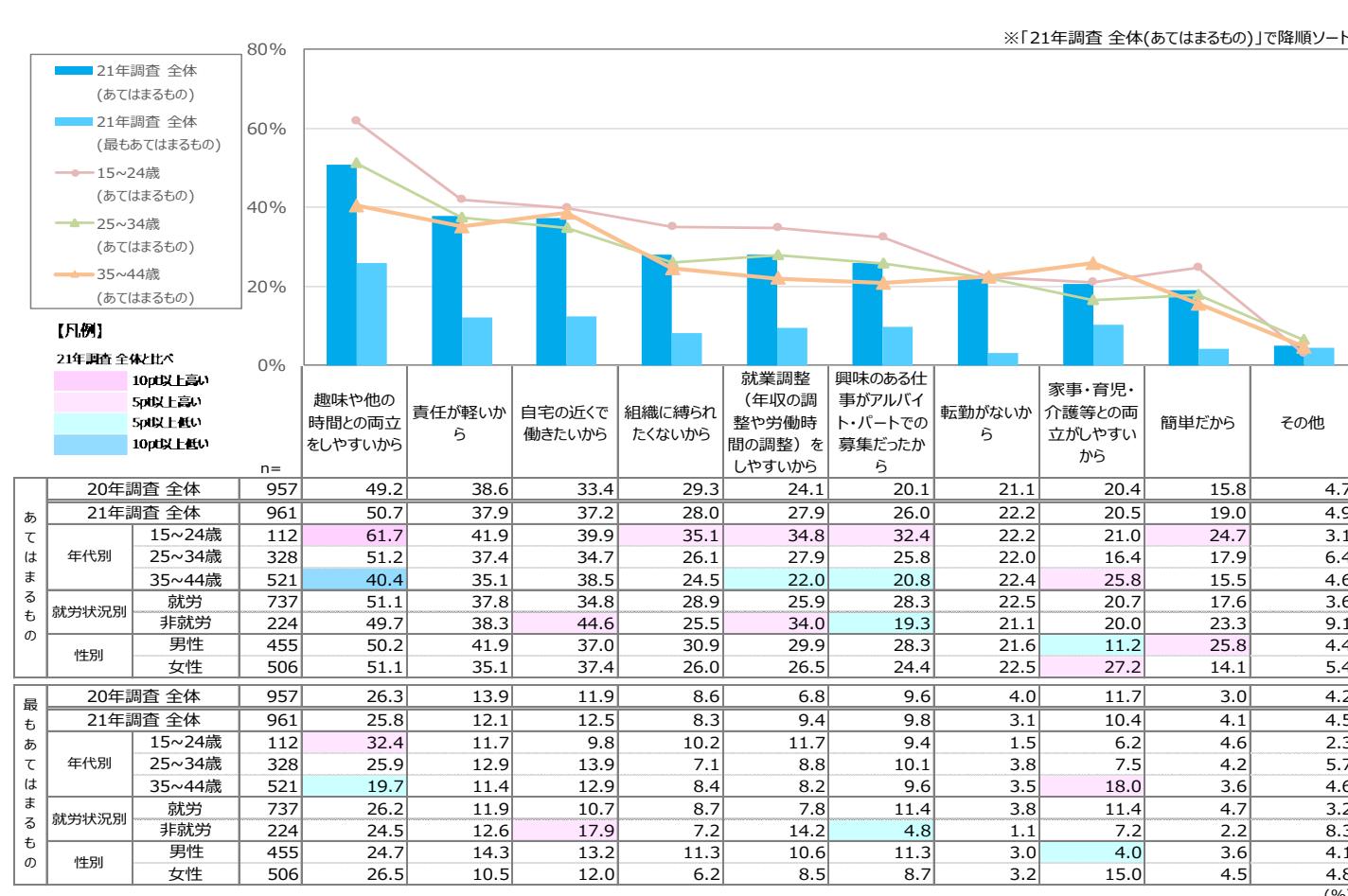


非正規社員意向有りの理由（単一回答・複数回答）

- ・全体で【あてはまるもの】をみると、前回同様、「趣味や他の時間との両立をしやすいから」「責任が軽いから」「自宅の近くで働きたいから」などが特に高い。
- ・年代別でみると、「趣味や他の時間との両立をしやすいから」「就業調整（年収の調整や労働時間の調整）をしやすいから」「興味のある仕事がアルバイト・パートでの募集だったから」などは若年層ほど比率が高まる。

※ベース：今後、非正規社員意向あり

※非正規社員＝「アルバイト・パート」+「契約社員」+「派遣社員」+「業務委託契約を結んで働く人」



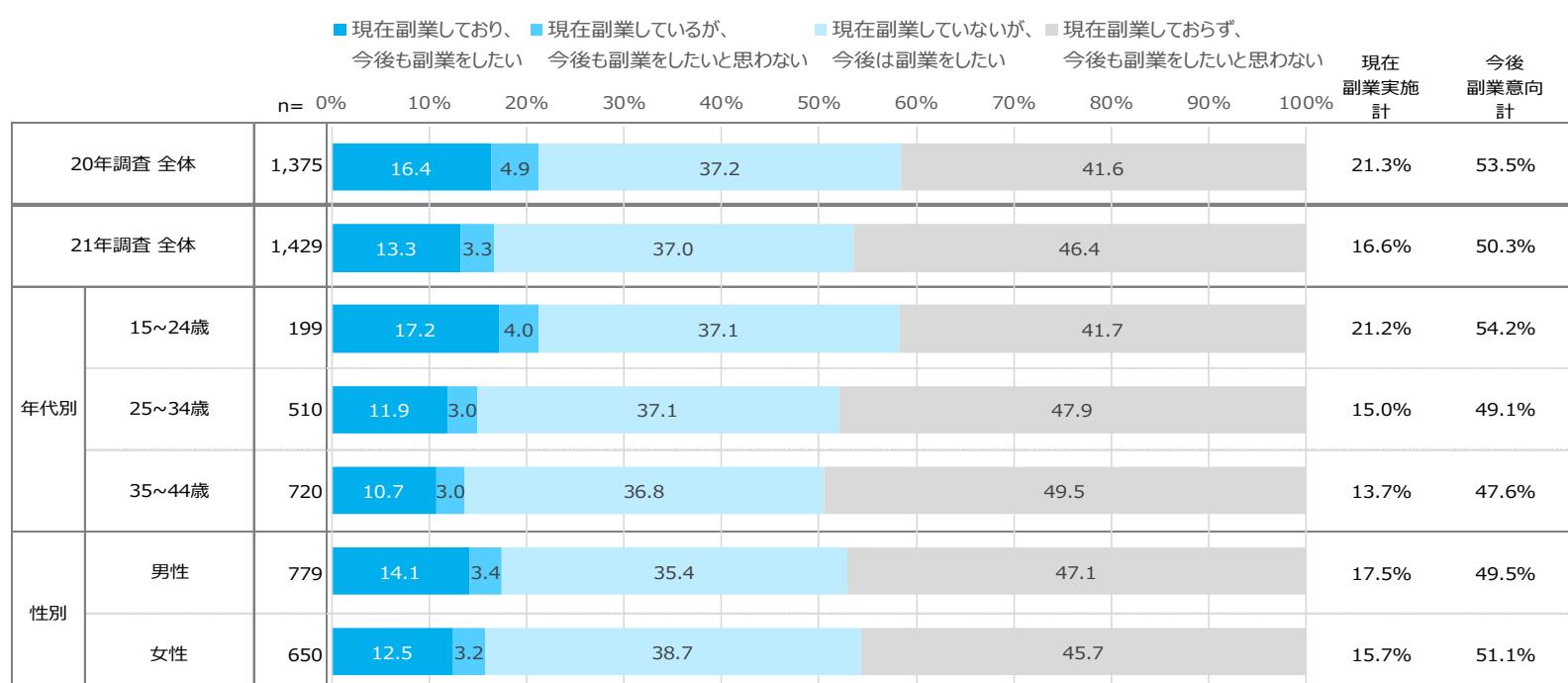
副業・掛け持ち意向（単一回答）

- ・全体では、【現在副業・掛け持ち実施計】は2割弱、【今後副業・掛け持ち意向計】は5割。いずれもの比率も前回に比べやや低下。

- ・年代別でみると、【現在副業・掛け持ち実施計】【今後副業・掛け持ち意向計】は若年層ほど高まる。

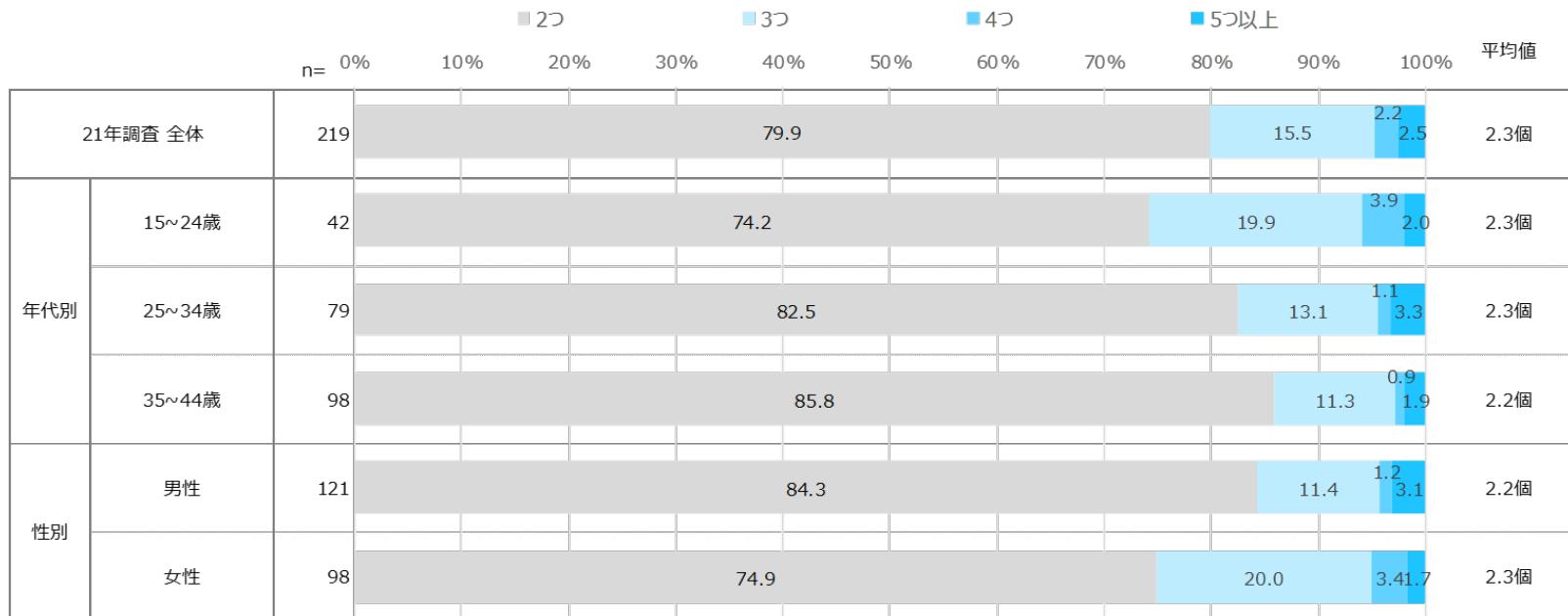
※ベース：現在の職業がパート・アルバイト

※ここでの副業とは、株の配当・利益や、家賃収入などの労働を伴わない仕事は含まない



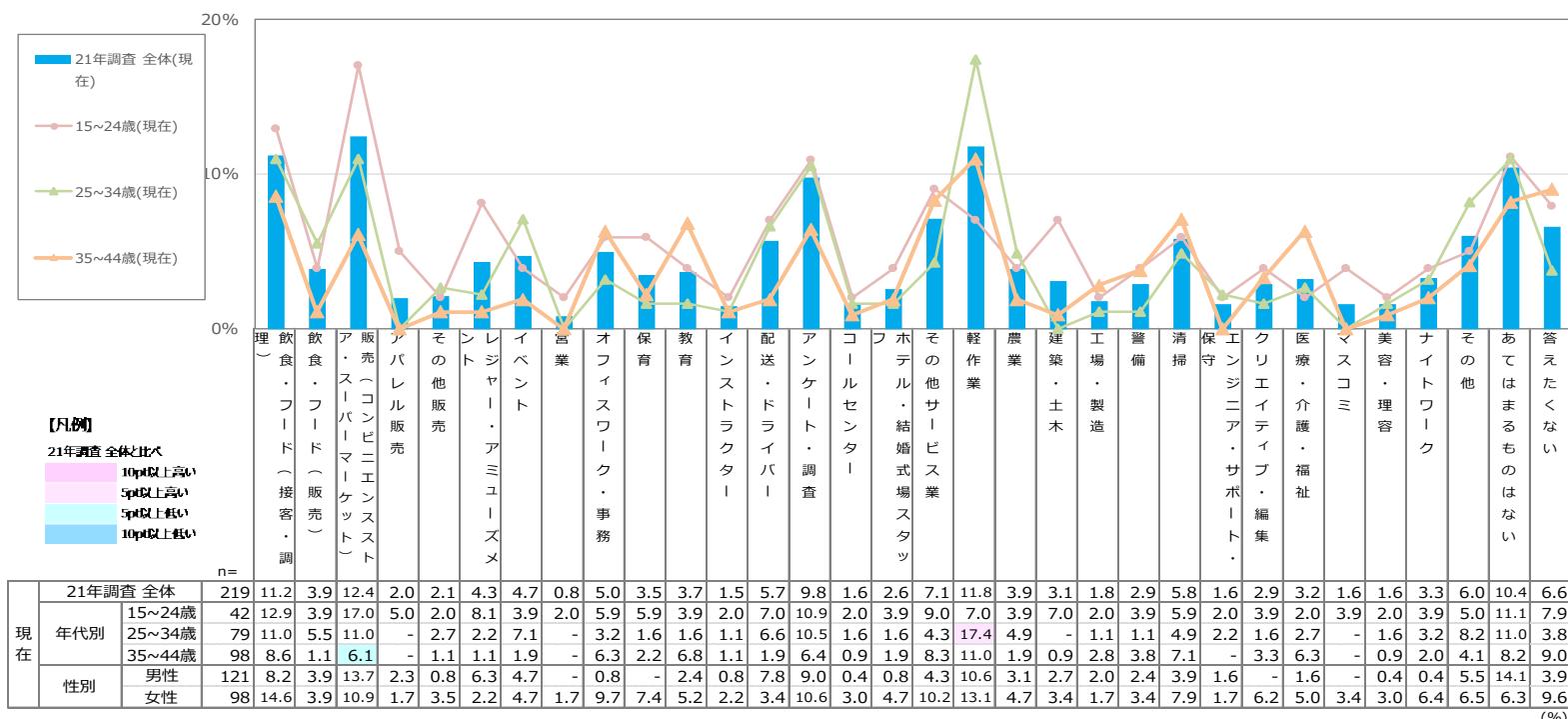
副業・掛け持ち数（單一回答）

- ・全体では、「2つ」が8割弱を占め、平均は2.3個となっている。
- ・年代別でみると、3つ以上の副業をしている人の比率は若年層ほど高まる。
- ※ベース：副業・掛け持ち実施者

**現在の副業の職種（複数回答）**

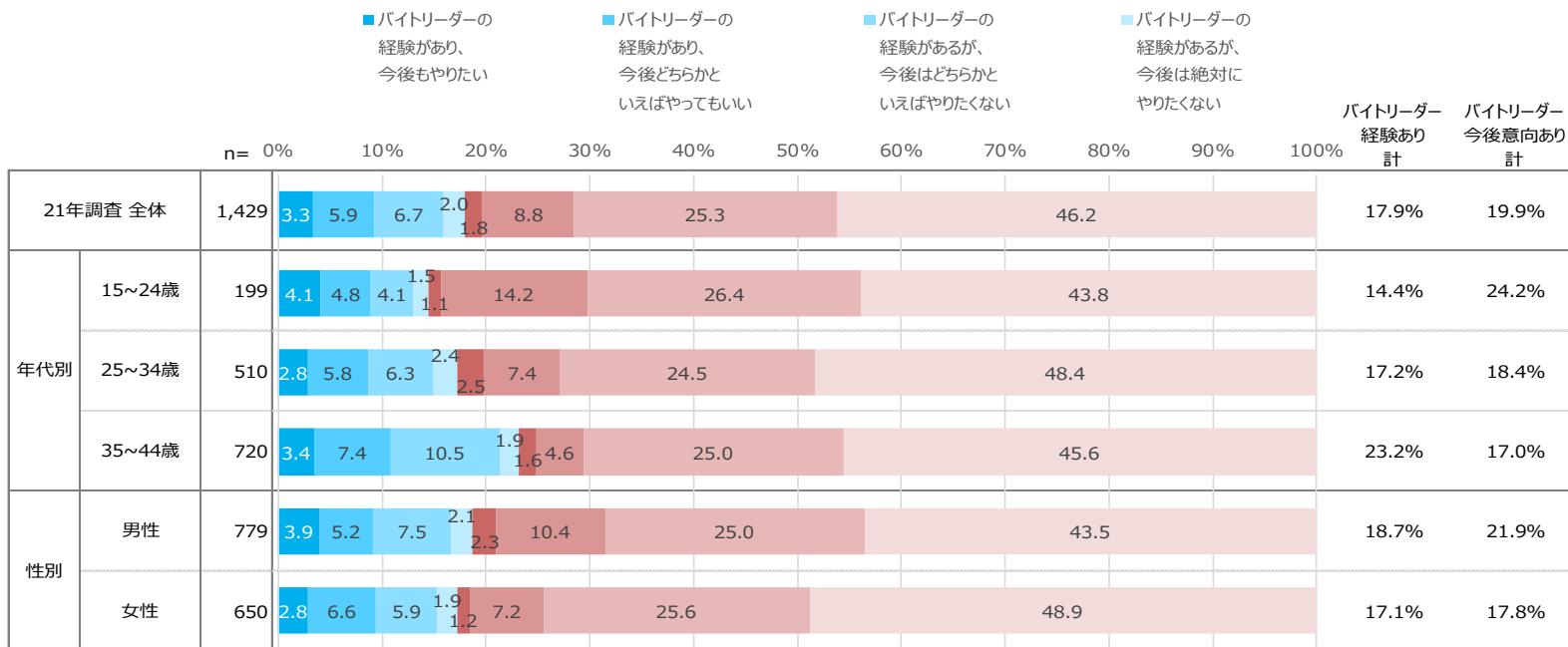
- ・全体では、「販売（コンビニエンスストア・スーパー・マーケット）」が最も高く、「軽作業」「飲食・フード（接客・調理）」が続く。
- ・年代別でみると、「販売（コンビニエンスストア・スーパー・マーケット）」「飲食・フード（接客・調理）」は若年層ほど高まる。
- ・「軽作業」は25~34歳で高め。

※ベース：副業・掛け持ち実施者



バイトリーダー経験意向有無（単一回答）

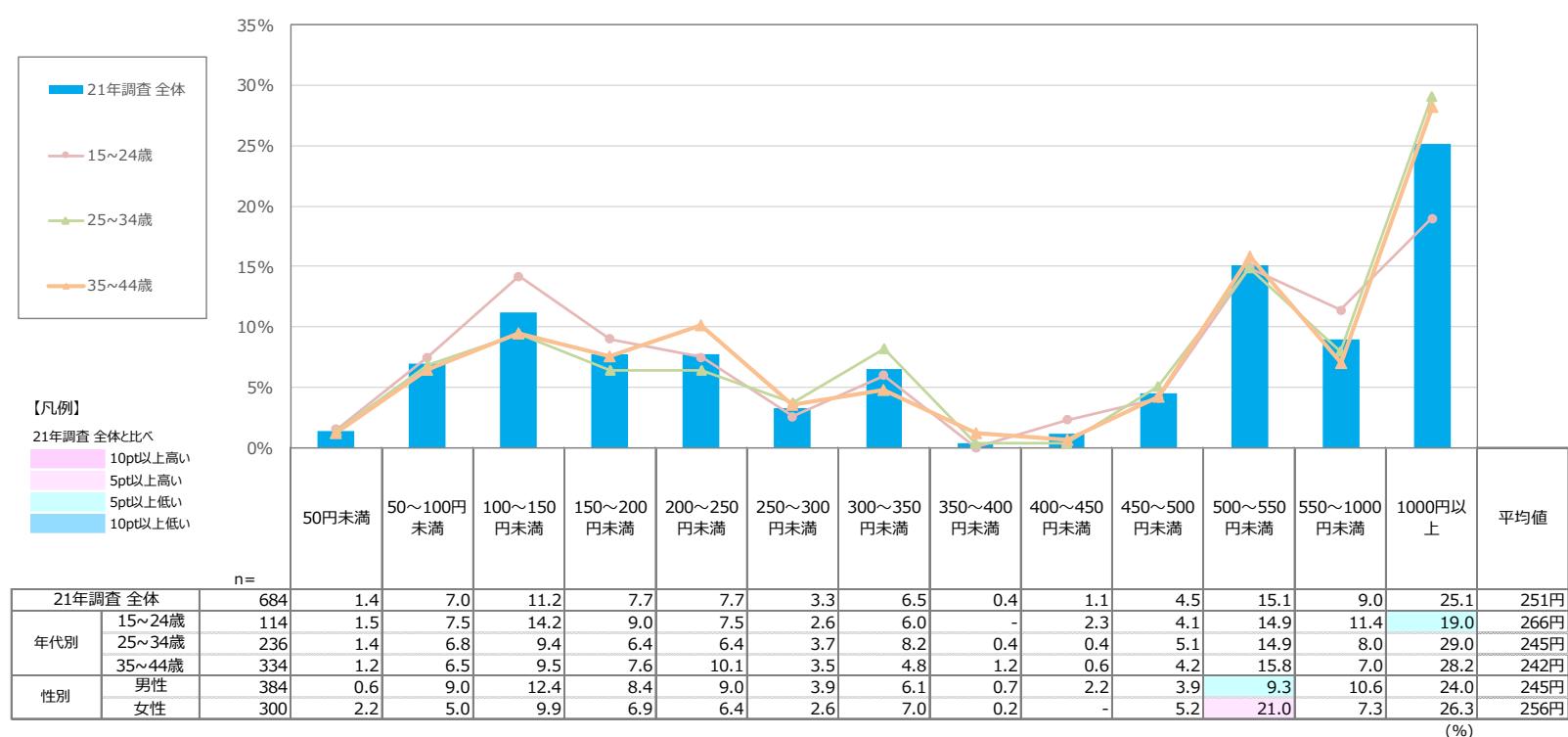
- ・全体では、バイトリーダー経験者、バイトリーダー今後意向者はいずれも約2割。
 - ・年代別でみると、バイトリーダー経験者の比率は高年層ほど、バイトリーダー今後意向者の比率は若年層ほど高まる。
- ※ベース：現在の職業がパート・アルバイト



バイトリーダーをやる場合に希望するプラス時給（単一回答）

- ・アルバイト就労者のうち「時給があがればバイトリーダーをやりたいと思うか」を聞いたところ、50.6%は「時給が上がってもバイトリーダーはやりたくない」と回答した。
- ・「時給があがればバイトリーダーをやりたい・やってもいい」とした人に、その場合、「現在の時給にどのくらいプラスされればやれるか」を聞いたところ、全体平均では251円となった。

※ベース：現在の職業がパート・アルバイト　且つ「時給が上がってもバイトリーダーはやりたくない」抜き



ウェイトバック集計について

スクリーニングアンケート回答者の構成比（性年齢）を、市場構成比に近づけるために、『総務省・労働力調査』を基に、以下の通りウェイトバック集計を実施した。

①2021年労働力調査(5月分)より、労働力人口(労働者)を集計

(万人)	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
3094	299	627	760	290	516	602

②構成比

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
	9.7%	20.3%	24.6%	9.4%	16.7%	19.5%

③スクリーニングアンケート回答者の構成比を、②の構成比に合わせて集計を実施

■ウェイトバック前

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
9103	123	755	1574	511	2280	3860

■ウェイトバック後

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
9103	880	1845	2236	853	1518	1771

本調査回答者の構成比を、スクリーニング調査結果から算出した市場構成比に近づけるために、以下の通りウェイトバック集計を実施した。

①労働力調査(2020年平均速報データ)より

「パート・アルバイト及びその希望者」の年齢階級別人口構成比を算出

(万人)	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
186	29	38	26	30	39	24

<https://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/nen/dt/pdf/index1.pdf>

表17 年齢階級別「パート・アルバイト及びその希望者」数の推移「2020年結果」の人口を使用

②構成比

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
	15.6%	20.4%	14.0%	16.1%	21.0%	12.9%

③スクリーニングアンケート回答者の構成比を、②の構成比に合わせて集計を実施

■ウェイトバック前

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
1734	92	363	488	147	255	389

■ウェイトバック後

TOTAL	男性			女性		
	15-24歳	25-34歳	35-44歳	15-24歳	25-34歳	35-44歳
1734	270	354	242	280	364	224